

## 令和3年度 第1回まちづくり総合委員会 議事要旨

開催日時:令和3年8月10日(火)14時00分～16時30分

開催場所:北広島町まちづくりセンター きたひろホール

出席者 :三浦委員長・小笠原副委員長・砂原委員・長田委員・織田委員・長本委員・荒川委員・小笠原委員・小川委員・宇川委員・寺田委員・友田委員  
・山本委員・板倉委員

事務局 :財政政策課 植田課長・高野係長・和泉・山岡

欠席者 :加計委員・田坂委員・上原委員・伊藤委員・藤田委員

議事 1 令和2年度実施事業の評価・検証について

2 第2次北広島町長期総合計画 骨子(案)について

### ■前期計画5年間の評価・検証について

議事に入る前に、次の事項について、委員から質問・意見が出されました。

質問・意見等	回答・補足説明
① 前期全体を渡っての評価ではなく、前年度のみでの評価であるということか。	① 長期総合計画・総合戦略の進捗にあたり、前年度の評価をしていただくことを趣旨としている。この趣旨にもとづき、令和2年度における個別事業の進捗状況について、成果指標進捗状況調書をもとに評価をお願いする。
② 達成困難なことも含めて意見が出るが、今年度中に何らかの反映をするのか、あるいは後期の基本計画に反映をするのか。	② 前年度の評価を継続して毎年度の評価を行いながら、今年度を含め、以降の実施計画の検証・見直しに結び付けていくと考えてほしい。令和2年度までの評価については、事業実施担当課へフィードバックできるため、本年度中に策定する後期基本計画への反映をすることができたらと考えている。
③ そもそも前期計画5年間の評価・確認はしていないのか。全体としてどうだったのかという評価を踏まえる必要があらうかと思う。前期のチェックを踏まえて後期というふうにおさえていかないといけない。	③ 後期基本計画の策定にあたっては、前期基本計画の成果指標進捗状況についての評価・検証を踏まえることが必要である。ただし、前期基本計画の計画期間は、平成29年度～令和3年度の5か年であるため、計画最終年となる令和3年度の評価は翌年度以降となる。

議事1 令和2年度実施事業の評価・検証について

令和2年度実施事業(第2次長期総合計画・総合戦略、地方創生推進交付金事業)の内部評価について、プロセスや、次年度の予算の使い方、改善への視点を含めた総合的な評価として、委員から多面的な意見を出していただきました。

施策分野ごとに下記の3つの観点で整理を行っています。それぞれの質問等に番号で表しています。

- ①…R2年度の取組状況 ②…成果及び課題について ③…R3年度の取組の方向性

長期総合計画や総合戦略の進捗状況、事業評価・検証については、事業担当課による内部評価の客観性を深めることで効率的な施策の改善を図ることを目的としています。

(1)第2次長期総合計画・総合戦略の評価・検証について

■施策分野 I みんなで創造する実りと活力のあるまち

観点	質問・意見	回答・補足説明
③	<p>シカやイノシシがとて多くなった。あまりにもたくさん出る。</p> <p>「(2)林業・水産業の振興、「里山林の整備」について、山の手入れとともに、山に帰ってもらうような対策が将来的にずっとできるように、後期計画や今後の方針にも入れてもらいたい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 「里山林の整備」については、ひろしまの森づくり事業における「森づくり交付金事業(里山林対策)」を活用して、里山林整備事業(景観保全・バッファゾーン整備等)、里山保全活用支援事業(炭窯整備等)、森林・林業体験活動支援事業(木育等)、里山活用・保全活動支援を行っている。</p> <p>ひろしまの森づくり事業については、第3期が令和3年度までとなっており、県に対して第4期として継続して事業を行うように、強く要望している状況。</p> <p>今後とも里山林整備は山の大切さの認識・有害鳥獣対策を含めて重要であるため、ひろしま森づくり事業等を活用して取組みを進めていきたいと考えている。</p>

観点	質問・意見	回答・補足説明
②	<p>学校給食地産地消促進事業の成果で、「関心を高めることができた」「感謝の気持ちを育むことができた」とあるが、実際に調査をしているのか。児童が本当に感じているのか。</p> <p>受け手を常に意識した成果として見なければ意味がない。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 地場産物の活用については、地域の生産者との連携や農業体験など教科等との連携を図り、また、給食献立を教材として活用するといった食に関する指導を行っている。</p> <p>こうした取組により、食べ物を大切に、残さず食べることが身につけているということが、児童・生徒が日々食べている給食の食べ残しの量が少ないことから分かる。</p> <p>また、現場の教職員による児童・生徒との対話や関わりの中で、「地域の食材」や「地域の伝統的な食文化」、「行事にちなんだ料理」についての知識や思いについて、話を聞くことができています。</p>
②	<p>林業についてもいえるが、本当に意識の高揚につながったのか、啓発につながったのか。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 ひろしまの森づくり事業は平成 19 年に始まり 14 年が経過した。本事業は、手入れ不足の人工林の整備及び集落や田畑に隣接した里山林の間伐整備等、多面的な事業内容であることから、町広報や町ホームページ及び農林業振興資料において事業啓発に積極的に取り組んだ。</p> <p>森林整備を行うことで、里山環境整備や有害獣対策に一定の効果が見られるとして、森林所有者からの評価も高く、継続した事業への取り組みや地域での取り組みに発展しており、取り組みに対する意識の高揚に繋がったと考える。</p> <p>今後とも事業の周知等を行い、里山林整備等の事業を行っていきたいと考える。</p>

観点	質問・意見	回答・補足説明
③	<p>町内企業相談件数等の目標に対して、商工会という組織との連携をしっかりとってほしい。商工観光課が数少ない人員で自分たちがやらないといけないという形ではなく、組織を利用して共同でやることでお互いに生きると感じている。</p> <p>連携という部分が欠けているのではないか。</p> <p>令和3年度 of 取組の方向性には「商工会と連携して」とあるが、具体的にはみえていないようなので、もう一步進めていく必要がある。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 商工観光課(商工振興係)の人数では、専門性の高い商工振興事業や施設管理等の様々な業務を行うのは、ご意見のとおり非常に厳しいものがある。そのため、北広島町商工会とは様々な事業において商工振興に係る連携を常にとっており、具体的な例としてはつぎのとおりである。</p> <p>創業相談については、町に来られた相談者の相談内容に応じて、創業のノウハウを持っている北広島町商工会や国のよろず支援等へお繋ぎすることで対応している。</p> <p>また、ビジネス創造支援補助金制度においては、商工会には事業計画作成段階から申請者に関わり、商工会の意見書を添えて申請していただき、採択された事業についての進捗状況や創業後の状況確認等、深く関わっていただいている。</p> <p>その他、創業に関わらず、商工会が相談や事業者支援をしている中で把握した事業者ニーズなどの情報を町と商工会との月1回の定例会等で共有しており、施策に関わる意見交換等も行っているため、引き続きしっかりと連携を取り、商工業の振興を行っていきたいと考えている。</p>

■施策分野Ⅱ 誰もが愛着を持って暮らせるまち

観点	質問・意見	回答・補足説明
③	<p>「(1)交流を生むまちの魅力づくりと観光振興」のところで、進捗状況がすべて「目標達成が困難」である。原因としてコロナ禍、それをふまえての対応ということであるが、新しい形での交流ということが、どこまで踏み込んで考えられているのか、取組の方向性からは見えない。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 新型コロナウイルスの影響によりイベントの中止や延期、又観光施設の時間短縮営業や休業を余儀なくされている中、北広島観光プロモーション実行委員会においては、可能な範囲で町内観光事業者とともに実施される近隣のイベントや行事等へ積極的に参画し、プロモーション活動を実施している。</p> <p>また令和4年度から8年度までの「第二次北広島町観光振興まちづくり計画」を策定中で、コロナ禍を踏まえた、例えば近隣からでも本町の自然を活用した誘客事業の計画等を作成し策定委員会へ諮問する予定。</p> <p>民泊体験・農山村体験についても、予定されていた体験事業が緊急事態宣言等により延期または中止となっている中、広島湾ベイエリア・海生都市圏研究協議会を中心に他の協議会メンバー8 地域と連携し、昨年度からコロナ禍の状況により民泊受入を見合わせ、集団泊や日帰り体験を新たに取り入れる等、体験型修学旅行の誘致継続・拡大に取り組んでいる。</p>
③	<p>国の地方創生に関連した取組や新型コロナウイルスがある中でのニューノーマルに対応したこれからのまちづくりということで、新しい情報、新しい方向性が打ち出されているが、まだまだ反映しきれていないのではないかと。新型コロナウイルスへの安全を確保するためにソーシャルディスタンスなどだけの対応ではなくなってきており、最新の動向を踏まえ、町が出したデジタルに関する新しい方向性を含めた新しい関係人口の作り方も検討してほしい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 令和3年4月に策定した「北広島町行政サービスDX戦略」における8つの重点課題において、「アプリケーションツールを活用した行政サービスの提供」を掲げており、スマートフォンアプリを有効活用し、暮らしの情報や防災、行政情報などの積極的な配信を行い、誰でも使える情報サービスを展開することを目指している。アプリケーションツールによるタイムリーな情報配信や手続きができる仕組みを構築し、観光の「交流人口」に限らず、北広島町と関係者がつながり、北広島町の助けとなる行動へと結びつく価値観を持ってもらえるよう、活用していきたい。</p>

観点	質問・意見	回答・補足説明
②	<p>「Uターン奨励金の交付件数」について、課題として「若年層のニーズに沿った施策」とあるが、ニーズをどう測るのがわからない。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》若年層に対してヒアリングを行いニーズについて調査を行っている。ニーズとしては、移住相談の充実や移住前後のサポート体制の構築等が求められている。また、全国的なUターン等の動向や傾向、他の自治体の制度などを参考に制度を検討する。</p>
①	<p>「子育てに不安や負担を感じない」と思う人の割合について、アンケート調査を行わない理由はあるのか。</p> <p>アンケートを行ってほしい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》既に、平成 30 年度に、第 1 期北広島町子ども・子育て支援事業計画(平成 27～令和元年度)の検証と第 2 期計画(令和 2～6 年度)を策定するため、アンケート調査を実施した。</p> <p>よって、第 2 期計画の検証と第 3 期計画(令和 7～11 年度)を策定するため、次回のアンケート調査は、令和 5 年度に実施予定としている。</p>
②	<p>「将来、北広島町に住みたいと思う中学校3年生の割合」が少ない中で、いろんな要素が絡まってだと思われるが、なぜ住みたいと思わないのかを発見しないと施策が打てない。</p> <p>上記指標のアンケート項目について、学校現場としては割合が上がらないことが悩みである。この項目で町に対する愛着が果たして測れるだろうか。住まなくても貢献したい子どもが多いのかもしれない。問う内容も変えていく必要があるかもしれないし、住みたくない理由を聞いてみることも良いのかもしれない。私たちが課題としていることについても、子ども達目線に変えてほしいこと、夢や希望が見えてくるのではないだろうか。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》「住みたいと思わない割合」が多い理由について個別に調査していないのでわからない。</p> <p>「ふるさと夢プロジェクト事業」は、町を離れていてもふるさと北広島町を大切に思い、貢献できるような人材の育成に努めていきたいと考えており、アンケートの問いについては再検討したい。</p>



■施策分野Ⅲ 心身ともに健やかで安心して暮らせるまち

観点	質問・意見	回答・補足説明																							
①	「地域包括ケア推進のための在宅医療・介護推進会議回数」について、令和2年度の対応として「新型コロナウイルス感染症の対応について、医療と介護で情報共有、対応の検討を行った。」とされているが、現状、医療介護の対応等、現在どんな進み具合なのか。	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 新型コロナウイルスワクチン接種が医療従事者、介護施設入所者等優先接種対象者が速やかに接種できるように、医療機関・介護施設等・町が連携し、順調に接種を終了することができた。高齢者・障害者等希望される方が接種できるように、関係機関と連携し、希望される方がほぼ接種できている。※</p> <p>感染症対策としては、医療機関・介護施設等の感染対策の状況の確認や不足物資の配布などを行った。クラスターとならないように、医療機関・介護事業所等と情報共有し対応できる体制となっている。</p> <p>※北広島町における新型コロナウイルスワクチン接種状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th colspan="2">1回目接種</th> <th colspan="2">2回目接種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">接種人数および接種率</td> <td>13,310 人</td> <td>80.59%</td> <td>10,995 人</td> <td>66.58%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内 訳</td> <td>65歳以上</td> <td>6,440 人</td> <td>90.27%</td> <td>6,280 人</td> <td>88.03%</td> </tr> <tr> <td>12歳～64歳</td> <td>6,870 人</td> <td>73.23%</td> <td>4,715 人</td> <td>50.26%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和3年9月14日時点)</p>	区 分		1回目接種		2回目接種		接種人数および接種率		13,310 人	80.59%	10,995 人	66.58%	内 訳	65歳以上	6,440 人	90.27%	6,280 人	88.03%	12歳～64歳	6,870 人	73.23%	4,715 人	50.26%
区 分		1回目接種		2回目接種																					
接種人数および接種率		13,310 人	80.59%	10,995 人	66.58%																				
内 訳	65歳以上	6,440 人	90.27%	6,280 人	88.03%																				
	12歳～64歳	6,870 人	73.23%	4,715 人	50.26%																				
③	研修会が実際に開催できそうなのか、難しいのであれば違った形が必要ではないか。	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》 感染状況に応じて、対策を講じて開催するか、オンライン等の違った形での開催を検討している。</p>																							

■施策分野Ⅳ やすらぎと便利さを感じられるまち

観点	質問・意見	回答、補足説明
③	「北広島町道路整備計画に基づく町道整備率」については、予算不足であるとしている中で、このままの目標値であれば、おそらく今年も目標達成困難になるのではないかと見えているのに、取り組むのはどうなのか。	<p>国・県の補助を受けて整備する事業については継続して行っている。全額町費で進める事業は、今現在、凍結をさせていただいている。従って、今年度も目標達成が困難となる可能性は高い。維持修繕については出来る限り対応していきたい。</p>

観点	質問・意見	回答、補足説明
②	<p>「(1)災害や緊急時に強い地域社会の実現」の項目について、現在の消防団員数はどのくらいか。</p> <p>なり手が無く、減ってきている。せめて役場の方が入ってほしい。一時、企業にも頼んだことがあるが、難しい。</p> <p>安心・安全のために、若い人が入ってもらえるよう努力することも必要なのではないか。近年は、いつどのような災害がおこるか分からない状況であり、充実したほうがよい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》定数 720 人に対し実員数 689 人(R3.4.1 現在)である。</p> <p>第 2 次長期総合計画策定時(平成 28 年度)から 67 人減少している。</p> <p>役場職員 202 人(R3.4.1 現在 本庁・各支所 男性 127 人・女性 75 人)の入団状況は、男性 62 人(48.8%)、女性 0 人(0%)である。</p> <p>随時、現役団員により地元の若い方の勧誘に努めているが、生業を理由にされたり、活動に対して共感が得られなかったり、さらにその家族にお願いしても説得していただけないなど、厳しい状況が続いている。</p> <p>同じく女性消防団員は必要と考えている。現在、女性消防団員の加入が進んでいないのは、①消防団の活動があまり知られていないこと、②女性消防団員の役割が明確になっていないことなどが理由と分析しており、今後、改善すべき点と考えている。現役女性団員 2 名の意見を取り入れ役割を明確にし、さらに消防団の活動を積極的にPRしていく。</p> <p>災害に強いまちづくりを進めていくためには、地域社会全体で消防団員の確保を考えていかななくてはならない。さらには、消防団だけでなく自主防災組織等の自律的な防災活動を促進する必要がある。災害時における避難所運営に中高生が積極的に携わったという好事例が報道されるなど、中高生は防災の担い手として期待している。現在、町では「きたひろ学び塾～With」を通じて中高生への防災学習を提供している。今後も学教教育と連携し、中高生への防災学習を充実させ、発災時に主体的な防災行動ができる中高生を育成し、家庭の中での防災リーダー・次世代の地域防災の担い手を目指していく。</p>
③	<p>大雨のとき、自主防災組織は機能していたか。自主防災組織がないといけないということを認識してもらうため、実際に地域でどういことが行われたか確認して、うまく動けたところの事例は広めていってほしい。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》8 月の台風から始まった災害対応の経験や事例は風化させることのないように伝えていかなければならないと考えている。新型コロナウイルスの影響で難しい状況ではあるが、出前講座(防災)等を通じて、避難所運営された組織の活動等を紹介していく。</p>



(2)地方創生推進交付金事業の評価・検証について

■スポーツをキーワードとした地方創生事業

質問・意見等	回答、補足説明
<p>スキーが今までの産業としてあったが、それが厳しい中でソフトテニスなどに予算を傾けることについて、<u>特定のエリアではなく、全町的な波及効果</u>があるからということだったかと思う。そこが無いと、たまたま予算措置したエリアだけの恩恵になってしまうかなと思う。</p> <p>担い手育成総合事業は、人材のことであり全体に広がるが、この事業は、<u>エリアが限定してしまっている中で、どう町全体に対して波及させるか</u>というのがないと、地域によって不満も出てくるかと思う。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》<u>本町全体に効果のある事業とするために、各地域から住民の方に参画していただくなどして、昨年度「第2期スポーツ推進計画」を策定させていただいた。</u></p> <p>町内では、それぞれの地域で地域特性を活かしたスポーツ、また全町域で取り組まれているスポーツなど、多様なスポーツがある。</p> <p>豊平地域においては、どんぐり北広島を地域で応援し支えるという機運の醸成が図られている。また、ソフトテニスも、中学生、高校生、社会人等全町で取り組まれており、交流人口の拡大にも繋がっている。</p> <p>町内各地域においては、ウィンタースポーツ、アウトドアスポーツ、ソフトバレーボール、野球、サッカー、体操等、地域に根ざした多様なスポーツが存在している。これらに対しても「みる」「ささえる」地域スポーツとして、<u>可能な支援を検討し実施することにより、スポーツによる地域の活性化を図っていくこととしている。</u></p>
<p>《後日意見》</p> <p><u>公共性のある事業推進を望む。実施するのであれば「町として今の時期に事業を実施する必要がある」という説明が果たせなければならぬ。</u></p> <p>この時代の大きな変革期、また国難時に補助金ありきではなく、きっちりとしたビジョンに沿った補助事業推進をしていかないと本当に大変な事になると心配している。</p> <p>一部の場所、一部の団体の我田引水に全て補助金ではなく、大きな額の借金はどうかと心配になる。こうしたことは本末転倒であり、町民感情を正に逆なでするようなことであると思う。</p> <p><u>庁舎内での横断的な職員間の議論等で偏った不公平感のある事業の抑制</u>をお願いする。</p>	<p>《後日回答》<u>本町全体に効果のある事業とするために、各地域から住民の方に参画していただくなどして、昨年度「第2期スポーツ推進計画」を策定させていただいた。</u></p> <p>当該計画の実施に当たっては、行政組織の横断的な取り組みが重要となる。従って、<u>行政内部での協議をしっかりと行い事業に取り組んでいく。</u></p>

質問・意見等	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>1. 令和2年度の取組と課題について</p> <p>・ 事業概要に示されている5つの事業、それぞれについて、取組内容と成果、課題を明確に示してほしい。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>1. 令和2年度の取組と課題</p> <p>○取り組み内容及び成果課題</p> <p>①スポーツコミッション活動安定化業務</p> <p>・ 事業内容…スポーツコミッション検討会議への参画、スポーツ推進計画策定委員会での講演、有識者を招へいしての講演会・研修会の開催、スポーツ庁との連携会議の調整実施、視察研修のコーディネート、アクティビティの実証実験のコーディネート等</p> <p>・ 成果と課題…スポーツコミッションとはなにか、どのような役割があり、何を期待するのか等について、関係者及び住民の方に対して理解を深めていただくためオンラインでの研修会を複数回実施した。実施後のアンケート調査は実施していないため理解の深まりは計測できていない。</p> <p>スポーツをキーワードとした地方創生事業で進めてきた取り組みについて、町内関係者の理解を深めていただくために、本町におけるスポーツによるまちづくりの目指すべき姿(将来像)について説明し共有化した。その将来像を実現するために、スポーツを通じた楽しさ・喜び・幸せを感じる身体活動を「きたひろスポーツ」通称「きたスポ」として位置づけ、これらの考え方を取り入れた「第2期北広島町スポーツ推進計画」を策定した。</p> <p>②スポーツコミッション創設準備事業</p> <p>・ 事業内容…スポーツを基軸にまちづくりを推進することを目的としたシンポジウムの開催、女性アスリートを対象としたスポーツ合宿、誘致のためのセミナーの開催、スポーツボランティアの育成講習会の開催などの実施。ソフトテニス大会については、新型コロナウイルスの影響により中止とし、町内の中学生、高校生、社会人等10団体が出演するPRビデオの制作を実施。スポーツを目的とする観光地形成として、スポーツで来町された方を周遊させるため、観光協会、旅行会社と連携し、自然・文化・食などを取り上げたユーチューブ動画の制作配信。スキー場におけるグリーンシーズンの活用検討として、気球及びパラグライダーの可能性についての体験会を開催。</p>

・ 成果と課題…スポーツコミッション創設準備事業を受託していたどんぐり財団から、当町が存在する中山間地域におけるコミッション組織については、スポーツのみでは財源的に自立した活動が難しいことから、当町のコミッション組織には、スポーツ、観光、文化、食等を幅広くコーディネートする組織であることが要件となるとのことを提案された。これに伴い新たな組織を検討し、設立、そして運営していくためには、外部人材の登用が必要であるということで、どんぐり財団から人材を推薦していただき、今年度から外部人材を登用し、事業の推進を図ってきている。

### ③ スポーツをキーワードとしたまちづくりに関するアンケート調査業務

・ 事業内容…スポーツ推進計画に基づく「スポーツをキーワードとしたまちづくり」関連事業の実施効果を検証していくうえで、町民にもわかりやすい成果指標の設定のため、無作為に抽出した住民 1,000 名に対し調査票を送付し、465 名から回答があった。

・ 成果と課題…スポーツを普段している人の割合は、33.8%、していない人が63.0%で、2/3の方がしていないという結果であった。また、頻度については、週に2～3回が28.0%で最も高くなっている。次いで週に1度程度が22.9%、月に1～2回程度が20.4%となっている。よくするスポーツとしては、ウォーキングが46.5%、体操(ラジオ体操を含む)が24.2%、グランドゴルフが18.5%となっている。

「スポーツをキーワードとしたまちづくり」における各種関連事業に取り組むに当たっては、その成果として、交流人口の数値や住民の運動習慣の定着率を事業の実施効果として、捉えることとした。過去において、こうしたアンケート調査を実施した実績が無かったことから、運動習慣の定着率について把握できておらず、今後の「きたスポ」への取り組みに対する指標とし、効果検証を行うことが可能となった。

	<p>④スポーツ関連施設予約管理システム導入業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容…町内の4運動公園及び4地域づくりセンターの 61 施設について、予約管理システムを導入した。</li> <li>・ 成果と課題…インターネット上で施設の空き状況を確認することが可能となった。利用を開始し、十分な利用案内が出来ていない状況ではあるが、利用された方からは空き状況が確認しやすくなり便利になったとの声がある。今後はネット上での予約等が可能となるようアップデートを行うと共に、利用の普及啓発を行う必要がある。</li> </ul> <p>⑤スポーツ施設等のバリアフリー化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容…豊平運動公園内のテニスコートに隣接する屋外トイレのバリアフリー化改修を行うと共に更衣室を整備した。</li> <li>・ 成果と課題…ソフトテニス大会や合宿において利用者からは、の洋式トイレ及び更衣室が充実したことで、利便性が向上したと評価されている。</li> </ul>
<p>・ スポーツアクティビティについては、事業概要に記載がないので、どの事業に関するものであるのかを明確にしたうえで、内容と成果、課題を示してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業内容…アクティビティについては、各スキー場や芸北地域における実施可能な現地確認を実施すると共にパラグライダー及び熱気球の体験会を実施した。体験会には約50名の参加があった。</li> <li>・ 成果と課題…これらのアクティビティについて、参加者からはスキー場におけるグリーンシーズンの活用の可能性はあるとの意見が多くきかれた。課題としては、導入費用、指導者の確保、運営主体の確保等の課題がある。</li> </ul>

質問・意見等	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>2. 事業の効果について</p> <p>事業の目的をどれだけ達成できたかで評価するものである。</p> <p>“実施ができた”、“参加できた”は効果ではなく、実施したことの結果に過ぎない。さらに、“貢献するものとする”、“増加が期待できる”は、獲得した効果でもなく、結果でもないため、ここで記述する事柄ではない。重要な観点として、投下するコスト(資金だけでなく広い意味で)に対して、成果としての「交流人口の拡大、関係人口の増大」がもたらす利益が上回る必要がある。それが成し得るのか。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>交流人口及び関係人口の拡大を図ることを目的として、各種事業への取り組み実施している。スポーツコミッションの設立については、スポーツに関する各種事業に取り組み、その実現を目指すものである。また、予約システム導入や施設の改修整備については、利用者の利便性向上により、その実現を目指すものである</p> <p>この度の事業を通じて、今後「交流人口の拡大、関係人口の増大」につなげるものである。</p>
<p>《後日意見》</p> <p>3. 今後の取り組みについて</p> <p>事業の目的達成のために、これから為さなければならないことを記述してほしい。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>3. 今後の取り組みについて</p> <p>スポーツによる地域活性化を実現するためには、スポーツと様々な地域資源を活用し、交流人口及び関係人口の拡大に向けた取り組みを行うことが重要であると考えている。そのためには、スポーツだけではなく、観光、文化、食等を幅広くコーディネートする新たなプラットフォームとなる組織を構築する必要がある。</p> <p>その組織の目指すべき姿や担うべき役割を明らかにして、スポーツ協会や観光協会及び関係事業者に対して「スポーツによるまちづくり」や「きたスポ」の考え方を説明させていただき、理解を得ながら組織の構築を進めていく。</p> <p>また、住民の皆様にも「きたスポ」の考え方を理解していただけるよう情報発信や普及啓発に努めて、幸福感・満足感を感じられる町を目指す。</p>

## ■担い手育成総合事業

質問・意見等	回答、補足説明
<p>重要業績評価指標(KPI)のうち、「3. 地域活動団体における活動実施件数の増加」について、事業の目的に繋がっている活動なのかどうかは確認できているか。件数とカウントするときに、活動内容を確認しているか。件数には事業の目的に繋がらないものも入ってイヤないだろうか。</p>	<p>後日回答とする。</p> <p>《後日回答》活動団体の目的と実際の活動内容を確認し、それが地域活性化に資するものと判断されたものを件数としてカウントしている。</p>

### (3)その他 意見・感想等

意見・感想等
<p>地元での買い物を奨励する割引券を発行する自治体もあるが、町ではこうした方策をしていないし、要望しても返答がない。農林業だけが主幹産業ではない。企業がほったらかしにされていると感じている。</p>
<p>内部評価と外部評価のところで、どう思って具体的な取組がどの程度できて、こういう評価になったということにしていけないと足踏み状態になってしまう。また課題を見つけてやろうということでは、なかなか成果が見えにくい。</p>
<p>住んでいる人間が夢を持っていたいということであれば、解決したことが表に出たほうがいい話になるのだろう。</p>
<p>豊平で生まれ育ち、結婚し、今も住んでいるが、私たち世代で不安に思っているのは将来子どもを育てていくこと。不安に感じることは、やっぱり人口は減っていくこと。実際に買い物をする場も減り、不便で不安な面も出てくる。</p>
<p>私たちが「ここが良い」という声が、一番の説得力となる。いろんな政策があり、新しい人を呼ぶこともとても良いと思うが、住んでいる人たちが「イイな」、と言える町になることが一番大事だと思う。</p>



議事2 第2次北広島町長期総合計画 骨子(案)について

これまでの後期基本計画の策定に向けた取組結果を踏まえ、事務局から第2次北広島町長期総合計画 骨子(案)を提示しました。前期基本計画からの主な変更点はつぎのとおりです。なお、後期基本計画の具体的な内容については、今後、作成に取りかかってまいります。

主な変更点
<p><b>【総合計画】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢の変化を記載</li> <li>・住民アンケートおよび団体ヒアリングの結果の更新</li> <li>・計画の取組状況と主要課題において各事業担当課からのヒアリング結果の掲載</li> </ul> <p><b>【基本構想】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めざすまちの将来像および重点方針を、昨年までの取組・議論をもとに更新</li> <li>・計画の体系区分を4段階から3段階(施策分野、基本的な方向性、施策の展開)に簡素化して表示</li> <li>・基本的な方向性について、スポーツを通じたまちづくりの推進、地域福祉の推進を掲出、内容を統廃合</li> </ul>

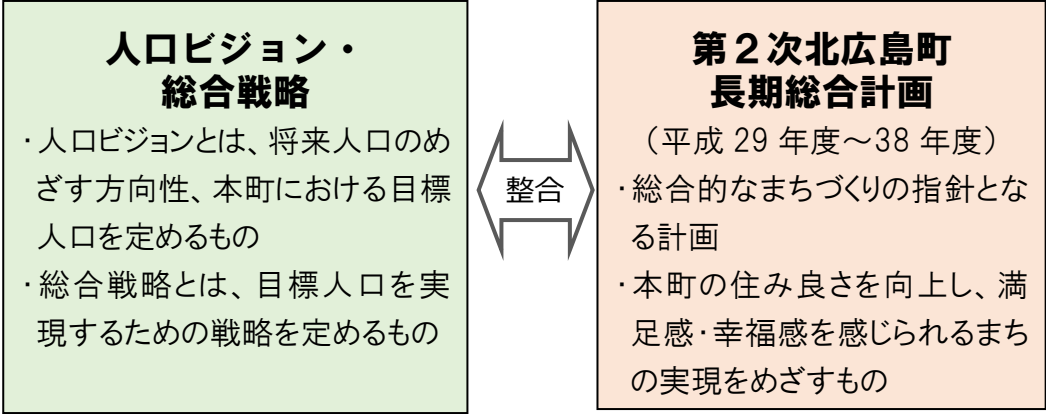
委員からの意見とそれに対する回答、補足説明

■ 少子高齢化・人口減少社会への対応について

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>北広島町の人口推移をみると2020年が17,816人から15年後2024年12,969人になると予想されている(社人研推計2018)。人口が約半分になる。今は、予測よりも減少幅が少なく町の行政施策が効果を上げていると考えられる。しかし、現在の出生数をみると芸北・大朝・豊平は、一桁台になっており、千代田についても合併当時(105人)より半分になっている。また、65才以上人口割合の芸北・大朝・豊平については、約50%になっており人口減少がこの10年間に急速に進むことが考えられる。10年間を見据えた計画が必要になってくるがどのような計画を盛り込んでいくように考えるか。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>人口減少や少子高齢化に伴う課題として、防災上の安全の確保や地域行事の開催など生活を支える地域コミュニティの維持が困難となることが懸念される。そのほか、地域経済への影響や教育、文化の伝承、公共施設の維持管理・更新等についても、人口減少・少子高齢化を見据えた今後のあり方を検討していく必要がある。</p> <p>第2次長期総合計画後期基本計画(計画期間:令和4年度から令和8年度)の策定にあたり、北広島町の現状と課題を踏まえ、基本構想(計画期間:平成29年度から令和8年度)の見直しも含めて検討していきたい。</p>

	<p>(参考)</p> <p>人口減少と地域経済縮小の克服を目指し、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき策定した「北広島町人口ビジョン」では、2040年に14,981人、2060年に12,470人という将来展望を示している。</p> <p>&lt;めざすべき将来の方向&gt;</p> <p>(1)「北広島町での暮らし」を選択する定住者の増加</p> <p>(2)「結婚・出産・子育ての希望」をかなえられる環境の整備</p> <p>(3)高齢化・過疎化に対応した、生活機能を維持できる地域づくり</p> <p>(4)関係人口の創出・拡大による都市部とのつながり強化</p> <p>(5)新しい時代の流れを力にする Society5.0、SDGs の推進</p>
--	--

【参考資料】第2次北広島町長期総合計画より抜粋



■ 高度情報化社会への対応について

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》</p> <p>北広島町では情報通信網の整備、光ファイバーの幹線整備が今年度末に完了する。このことにより、北広島町の情報通信社会がどうあるべきか示す具体的な計画が必要ではないか。</p>	<p>《後日回答》</p> <p>現在、北広島町では同軸ケーブル方式による情報通信網であるきたひろネットにより、情報通信網を構築しているが、整備後約14年が経過し機器更新時期を迎えている。</p> <p>加えて、コロナ禍などの影響を受けてテレワークや遠隔教育への対応など生活環境の急速な変化により、情報通信の高速化を望む声が高まっている。</p> <p>そうした中、北広島町では光高速通信網の整備を国や県の補助金やコロナ対策交付金などを有効に活用することにより、町の財政負担軽減を図りながら整備を行っている。</p> <p>令和3年4月に策定した「北広島町行政サービスDX戦略」における8つの重点課題でも、「光ブロードバンドによる情報通信網を有効活用した取組の推進」を掲げており、町内通信環境の向上はもちろん、加えて医療・福祉、農業、地域交通、子育て・教育などのあらゆる分野において町民の利便性向上や豊かな暮らしの創造へ向け、民間企業や外部デジタル人材のノウハウ活用や連携などにより調査・研究・実証実験等に取り組んでいる。</p>

■ 基本構想について

質問・意見	回答、補足説明
<p>前期では目標人口の前にブランドの確立のページがあったが、今回無くなっている。経緯などがあれば聞きたい。</p>	<p>当時は、まちづくりのブランド化の流行的なところもあったので入れていた。この4年間思ったよりもブランド化が進まなかったということから、一旦リセットして考え、大きく入れていくものではないのではないかと判断した。</p> <p>まちづくり総合委員会において再度入れた方が良いというご意見であれば再掲出も検討したい。</p>

<p>インタビュー型ワークショップ全体のとりまとめとして、分野セグメント「子育て世代」のところで出ているのは、『北広島町ってコレ』(とにかく自然と隣り合わせで子育てできる環境が魅力 自然や人をしっかり活かしたブランド化を！！)という意見があったのではないかと思う。</p>	<p>その通りの意見だったかと思う。半面、北広島町の特徴が旧町単位で独立しており、全町でこれというものが言いにくいのではという意見もあった。いろいろな特徴がある町として、それはそれで特徴であると思う。</p>
<p>以前のときのブランドは、野菜のブランドなどモノに対するブランド化のイメージが強かったのではないか。今回は北広島町全体としてのイメージとしてブランドということを言われているのではないか。再度イメージの共有が必要なのかもしれない。</p>	

■ やすらぎと便利さを感じるまちづくり

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》            今回の豪雨災害で千代田の冠川と出原川の周辺に大きな災害が出ており、何年かに一度は大きな災害が起きている。具体的に計画を上げて整備をする必要があるのではないか。</p>	<p>《後日回答》            8月の豪雨により、多くの被災箇所を抱えた冠川流域、出原川流域、吉木川流域などは平成11年6月豪雨や平成18年9月豪雨の際にも甚大な被害を受けており、度重なる災害発生となったことから、河川管理者である国に再度災害防止に向けた改良復旧事業の積極的な推進について令和3年8月豪雨災害に対する緊急要望を行った。            再度の災害を防止するため、災害復旧事業のみでは十分な効果を期待できない場合において、災害復旧費に改良費を加え、復旧事業に合わせて被災施設またはこれを含めた一連の施設を改良する、改良復旧事業を積極的に取り入れることができるよう、採択基準の柔軟な適用や緩和等、格段の配慮をお願いしている。</p>

■ 健全な行財政運営によるまちづくり

質問・意見	回答、補足説明
<p>《後日意見》            質の高い行政サービスが低コストで提供され、まちづくりの施策が効果的に実施されることを期待する。どのような計画を考えるか。</p>	<p>《後日回答》            前期基本計画においては、経営健全化と実質的な住民サービスの水準向上を図るため、各事業においては適切な経営計画を策定し、持続可能な運営規模等を明確にするなど、住民の理解と協力を得ながら具体的な取組を展開することを基本的な方向性としてきた。今後も引き続き、町民と行政による協働のまちづくりとあわせ、「住民のための行財政運営」を施策分野として掲げ、施策の展開に結び付けたい。</p>

■ その他の質問・意見等

質問・意見

長期総合計画 骨子(案)において、黄色での表示が全く見えないという意見があった。実際見えにくいと思うので対応していただきたい。

元々総合計画には計画策定で重視する主な視点として、「住民参加による策定と、策定後の住民との協働を促進する計画づくり」を記載している。施策分野Ⅴ「住民と行政が一体となって未来を創造するまち」に関わってくる内容ではあるが、住民との協働に関する部分が手薄に感じた。次の後期計画は反映していくべきだと思う。政策・方針決定過程の女性の参画割合など、あくまで男女共同参画について書かれているが、こうした視点で協働というのを見ていかないといけないと思う。



# 令和3年度

## 第1回 北広島町まちづくり総合委員会

### 会議資料

P 1～ 4 令和2年度実施事業の評価・検証について  
1. まちづくり総合委員会での評価・検証の趣旨  
2. 令和2年度実施事業の評価・検証

P 5～ 20 成果指標進捗状況調書

P21～ 24 地方創生推進交付金活用事業 評価シート

P25～ 26 北広島町まちづくり総合委員会条例

【別冊】北広島町長期総合計画 骨子(案)

# 令和2年度実施事業の評価・検証について

## 1. まちづくり総合委員会での評価・検証の趣旨

### (1) 長期総合計画は、「めざすまちの将来像」を実現するため、計画で設定する目標の

達成状況を評価・検証し、効率的な施策の改善を図る体制として、まちづくり総合委員会を設置することを定めています。



長期総合計画では、計画の進捗を客観的に評価・検証する成果指標(重要行政評価指標(KPI))を設定しています。

### (2) 総合戦略は、住民、地域、団体、企業、行政など町全体で共有し、協働して推進する

計画であるため、PDCA の各過程においても、町全体が関わる体制を構築し、高い実行性を確保することが必要です。北広島町総合戦略では、町内各界各層とともに推進・検証をしていくための有識者会議として、まちづくり総合委員会を設置することを規定しています。



また、総合戦略の推進にあたっては、長期総合計画と整合した成果指標(重要行政評価指標(KPI))を設定しています。

※「長期総合計画と、人口ビジョン・総合戦略との関係」は、P4(参考2)を参照ください。

### (3) 地方創生推進交付金は、「地方版総合戦略」に基づく、地方公共団体の自主的・

主体的で先導的な取り組みを支援することにより、地方創生の深化を促すことを目的とした国の財政支援です。



地方公共団体は、必要な支援措置を記載した地域再生計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けることで、財政支援を活用することができます。

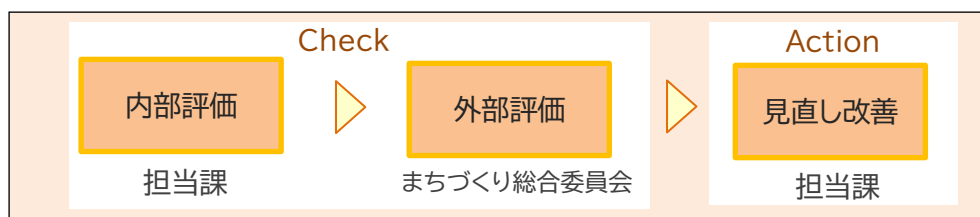
国の交付金制度要綱では、事業の実施状況に関する客観的な指標(重要業績評価指標(KPI))を設定の上、その達成状況について、原則、毎年度検証するよう努めるものと規定されています。

交付金活用事業は、総合戦略で設定した成果指標(重要行政評価指標(KPI))の達成状況について、外部有識者としてまちづくり総合委員会が効果検証を行います。

## 2. 令和2年度実施事業の評価・検証

### (1) 評価・検証の手順

令和2年度実施事業についての評価・検証を、次の手順で実施します。



### (2) 事業担当課による内部評価

- ① 第2次北広島町長期総合計画・総合戦略の推進にあたって、令和2年度における個別事業の進捗状況について、成果指標に照らして評価したうえ、成果及び課題、次年度の取組の方向性について検証し、成果指標進捗状況調書にまとめました。 P5～P20

#### 【令和2年度における成果指標の状況】

施策分野	進捗状況の評価基準(5段階評価)				
	完了	概ね 順調	少し遅れ ている	遅れて いる	目標達成 が困難
【施策分野1】 みんなで創造する爽りと 活力のあるまち	1	6	3	1	5
【施策分野2】 誰もが愛着を持って 暮らせるまち	3	13	1	1	6
【施策分野3】 心身ともに健やかで 安心して暮らせるまち	3	5	3	2	3
【施策分野4】 やすらぎと便利さを 感じられるまち	5	8	1	3	1
【施策分野5】 住民と行政が一体となって 未来を創造するまち	2	3	1	0	0
全 体	14	35	9	7	15

※ 個別事業の事情により評価が難しいもの(3件)は、含めていません。

- ② 地方創生推進交付金活用事業について、事業の進捗状況、成果について評価したうえ、課題、次年度の取組の方向性について検証し、評価シートにまとめました。

P21～P24

## (2) まちづくり総合委員会による評価・検証

評価の客観性を高め効率的な施策の改善を図るため、まちづくり総合委員会において、事業担当課による内部評価(目標達成に向けた施策・事業の実施、成果及び課題、次年度の取組の方向性)について、ご意見をいただきます。

まちづくり総合委員会での個別事業に関する具体的なご意見につきましては、各事業担当課に照会し、後日回答いたします。

### (3) 事務事業の見直しや改善

計画の着実な進捗を図るため、評価、検証の結果によって明らかとなった課題等を踏まえ、事務事業の見直しや改善に努め、「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(評価、検証)」「Action(改善)」サイクルを確立します。

評価結果については、透明性を確保するためホームページを通じて、広く公表します。

#### (参考1) 北広島町まちづくり基本条例

(評価)

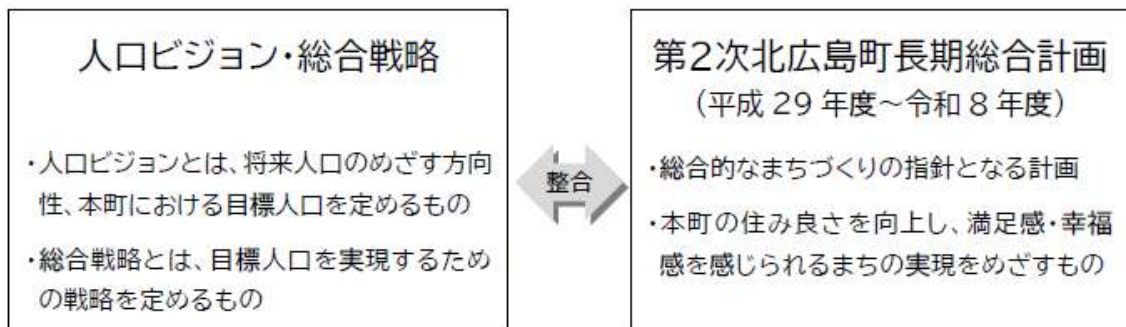
- 第41条 町は、総合計画などの重要な計画、予算、決算、事務内容などについて評価を実施しなければならない。
- 2 町は、前項の評価の結果を分かりやすく住民に公表し、政策や事務執行に反映しなければならない。

#### (参考2) 長期総合計画と、人口ビジョン・総合戦略との関係

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の策定は、法律上は努力義務ですが、「まち・ひと・しごと創生」に関する施策として国の交付金を受けるための前提条件であり、国の「長期ビジョン」・「総合戦略」を勘案して、平成27年度中に、ほぼ全ての県・市町村で策定されました。

北広島町では、人口減少と地域経済縮小の克服を目指し、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき「北広島町人口ビジョン」・「北広島町総合戦略」を平成27年10月に策定しました。

総合戦略は、第2次長期総合計画の基本構想と基本計画の一部、実施計画の一部と位置付けています。



- ・北広島町人口ビジョン (対象期間:2060年まで)
- ・北広島町総合戦略 (計画期間:平成27年度から平成31年度までの5年間)

※令和元年12月、国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されたことを受け、令和2年4月、「第2期北広島町総合戦略(計画期間:令和2年から令和6年度までの5年間)」を策定しています。(従来の目指すべき将来の方向性に、(4)関係人口の創出・拡大による都市部とのつながり強化、(5)新しい時代の流れを力にする Society5.0、SDGsの推進を追加しました。)

施策分野Ⅰ みんなで創造する実りと活力のあるまち

1. 活力ある産業のまちづくり

(1) 農業・畜産業の振興									
指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
新規就農者数	農林課	件	(H28) 7	8	9	9	10	15	少し遅れている
集落営農法人等による 集積面積	農林課	ha	(H27) 821	829	847	892	898	921	少し遅れている
学校給食地産地消促進 事業	農林課 学校教育課		—	—	—	—	—	30%増	少し遅れている
北広島町軟弱野菜ブランド 構築事業	農林課		—	周年モデル 販売検討	周年販売 実施	統一ロゴの 検討	統一ロゴ 販売等	構築	概ね順調

(2) 林業・水産業の振興

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
里山林の整備面積（放置 林整備・竹林伐採）	農林課	ha	(H27) 8	15.36	22.29	18.43	20.4	20	概ね順調
環境貢献林整備面積（間 伐による人工林の健全化）	農林課	ha	(H27) 50	53	60.35	48.25	60.24	70	概ね順調
森林経営計画の 策定件数	農林課	件	(H27) 28	25	16	12	3	40	概ね順調

(3) 商工業の振興

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
企業の本社機能の移転件 数	商工観光課	件	(H28) 0	0	0	0	0	1	目標達成が困難
町内商店数 (減少の歯止め)	商工観光課	店	(H26) 222					212 (H29-R3)	目標達成が困難
既存事業者の維持的発展 支援件数	商工観光課	件	(H28) 3	4	4	3	0	のべ20 (H29-R3)	目標達成が困難

2. 新たな創業と働きやすいまちづくり

(1) 新規創業への支援

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
創業相談件数	商工観光課	件	(H28) 4	6	6	11	9	のべ25 (H29-R3)	完了
創業支援件数	商工観光課	件	(H28) 4	3	2	2	2	のべ20 (H29-R3)	目標達成が困難

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
新規就農総合対策 事業	新型コロナの影響で就農フェア等へ参加が できなかったため、R3年度研修生については 未確保の状況。	毎年2名の研修生確保	コロナの状況はあるが、就農フェアへの参 加、ホームページでのPRを行い、R4年 度研修生2名の確保を図る。
農地中間管理事業	農地中間管理機構から農地を借り受けた法 人及び個人に地域集積交付金を交付する事 業を活用しながら、担い手への農地集積を 推進。	担い手への農地集積及び集積農地の飛び 地解消	引き続き農地中間管理機構及び地域集積 交付金等を活用しながら、担い手への農 地集積を図っていく。
各学校への地元食 材提供	・町の食材や郷土料理により給食を提供。  ※ふるさと夢プロジェクトの取組として実 施していた本町の食材を利用した「給食メ ニューコンテスト」は中止。	・町の食材や伝統に基づく調理方法に対 する関心を高めることができた。 ・地域の産業や文化に関心をもち、食材 や生産者への感謝の気持ちを育むことが できた。 ・安定的な供給、流通ルートがないので、 農業振興サイドとの連携による食材の確 保が必要。	・引き続き、食に関する指導として町の農 産物を活用。学校給食でも町の農産物を使 用し、子供たちが地域の産業に関心をもち 感謝の気持ちを育むための取組を行う。 ・学校給食で郷土料理を提供し、子供たち が地域の文化に関心を育てるような取組を 行う。
町野菜ブランディ ング事業助成金事 業	町内ホウレンソウ袋の統一ロゴ作成の支援 を行わない、統一ロゴによるモデル販売を 実施。	北広島町産ホウレンソウブランディングへ の取組	ロゴ作成支援を行なうとともに、野菜フ ェア等を通じて販売促進・PR等に取り組 む。

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
里山林整備、森林 保全活動、特認事 業	里山林整備（放置林、竹林整備）、森林保 全活動（山の日の取組）、特認事業（テン グシデ周辺林整備、龍頭山山頂整備、ナラ の森林整備、雲月山自然再生）	森林整備に対する意識の高揚に繋がる活 動が出来た。	ひろしまの森づくり事業第3期の最終年。 バッファゾーン整備やチップパーによる竹林 整備を推進。担い手育成や地域活動（特認 事業を3カ所で実施）を推進。
人工林整備（間伐） 、作業道開設	手入れ不足の人工林整備に計画的に取り組 んだ。棒路（げんじゅう川線）の作業道補 修を実施。	森林環境税対策に繋がる啓発が出来た。	引き続き人工林整備を推進するとともに、 施業に必要な作業道の開設に取り組む。
森林経営計画の策 定（町有林）、認 定業務（民有林）	計画的な認定業務に取り組む。	森林組合等への指導の徹底を図る。	森林経営管理法に基づく経営管理の進捗に 注視し、認定業務に対応する。

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
特になし	特になし	0件/本社移転の相談なし	特になし
事業承継支援補助 金	商工会と連携し、補助金を活用して計画的 な事業承継を推進する。	2件/事業者への啓発	目標 事業承継2件
ビジネス創造支援 補助金	令和2年度持続発展枠の予算なし	持続的発展0件	持続的発展に販路拡大を加えるなど、事業 の見直しを行う。

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
相談窓口	国のよろず支援相談と連携し、対面と専門 家とオンラインで相談できる体制を整え た。	よろず支援の創業相談はなかったが、そ の他経営相談はあったのでオンラインで の相談の可能性が感じられた。	コロナ禍ということもあり、オンライン相 談窓口の周知を図る。また、引き続き商工 会と連携して支援にあたる。
ビジネス創造支援 補助金	事業の推進	2件	引き続き、商工会と連携して創業者を支援 する。



(2) 人を生かす仕組みと働きやすいまちづくり

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
町内企業への訪問・相談・調整件数	商工観光課	件	(H28) 100	32	116	100	47	のべ500 (H29-R3)	目標達成が困難
町内高卒者の町内事業所就職者数	商工観光課	人	(H27) 10	15	12	9	10	のべ50 (H29-R3)	概ね順調
町内企業のインターンシップ実施企業数	まちづくり推進課	社	(H28) 5	0	0	0	0	のべ10 (H29-R3)	遅れている
マッチング支援による雇用者数 【総合戦略に記載するKPI】	まちづくり推進課	人	(H30) 15		15	19	21	20 (R6)	概ね順調

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
	コロナ禍で企業訪問は控えた。来訪、相談等があれば速やかに対応した。企業メールにより、各種情報を提供している。	コロナ禍で、企業の状況把握が課題	町広報紙に企業紹介を新規掲載するため、企業訪問を行い聞き取りを行う。
ジョブフェスタ事業、企業訪問事業	【ジョブフェスタ】千代田高校内で企業が自社ブースを構えて中高生等に自社紹介を行うもの。 令和2年度中止（千代田高校主催） 【企業訪問事業】千代田高校、芸北分校の高校生に町内企業への訪問を行う。 令和2年度中止（まちづくり推進課）	コロナ禍で中止	【ジョブフェスタ】中止 【企業訪問事業】予定しているが、緊急事態宣言等の状況により未定
町内企業長期インターンシップ支援事業	広島広域都市圏発展ビジョン有給長期インターンシップ事業と連携し取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の実施が自粛される。	・なし ・新型コロナウイルス感染症にも対応したインターンシップ実施の仕組み作りが必要	広島広域都市圏発展ビジョン有給長期インターンシップ事業と連携した取組
北広島町求人情報センター事業	暮らしアドバイザーによる無料職業紹介所の運営	・町の紹介による求職者の増、特開金等の国の制度との連携 ・高齢者を対象とした求人情報の拡充	・広島労働局・県商工労働局と連携した情報発信 ・求職者にとって分かりやすい求人情報の発信

施策分野Ⅱ 誰もが愛着を持って暮らせるまち

1. 個性ある魅力にふれるまちづくり

(1) 交流を生むまちの魅力づくりと観光振興

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
入込観光客数	商工観光課	万人	(H27) 188	179	174	159	108	201	目標達成が困難
観光消費額	商工観光課	億円	(H27) 33.6	28.9	27.9	27	16.8	36	目標達成が困難
民泊体験・農林業体験受け入れ者数	商工観光課	人泊	(H27) 3,523	2,777	3,568	3107	82	5,800	目標達成が困難
民泊体験・農林業体験修学旅行訪問学校数	商工観光課	校	(H27) 3	8	10	7	1	16	目標達成が困難

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
北広島町観光プロモーション事業	集客ターゲットに合わせたプロモーションの実施、ターゲットにあわせたグッズ製作、ノベルティ配布、インパウンド対象のプロダクト開発を進めていたが、コロナ禍により大半のイベント・事業が中止・延期となり、特に対面式でのプロモーションの機会が激減した。やまがたサイクルツーリズム推進協議会によるサイクリストの誘客事業も、開催直前に中止となった。	コロナ禍において可能な範囲でプロモーション活動を行った。イベント・資料館等の施設の誘客は減少したが、山や川等の屋外施設は増となった。しばらくの期間はコロナ禍及び終息を見据えた誘客活動を継続していく必要がある。	コロナ禍において安全を第一に、自然・少人数・近場等のニーズに応えられるプロモーションを実施。 前年度に引き続き、冬季プロダクト開発とグリーンシーズンのスキー場利用を強化する。 公共交通の脆弱をサイクルツーリズムにより補完し、ツアー造成を行い誘客を図る。
北広島町農山村体験推進事業	コロナ禍にあっても受け入れ態勢充実を図るため受入家庭の継続・拡大を行った。	コロナ禍であっても25校の申込みがあったが感染状況により3校のみとなった。単独で大型校の受け入れをするには家庭数が少ない。さらに拡大を図る必要がある。	受入家庭数の確保と旅行会社や学校への営業を強化する。 感染状況により、学校と受入家庭の調整を行っていく。
北広島町農山村体験推進事業	コロナ禍にあっても受け入れ態勢充実を図るため受入家庭の継続・拡大を行った。	コロナ禍であっても修学旅行7校・インパウンド2校の申込みがあったが感染状況により修学旅行1校のみとなった。単独で大型校の受け入れをするには家庭数が少ない。さらに拡大を図る必要がある。	受入家庭数の確保と旅行会社や学校への営業を強化する。 感染状況により、学校と受入家庭の調整を行っていく。インパウンド教育旅行については、海外での変異種拡大・感染状況が把握できないため今年度は見合わせる予定。

(2) 歴史・文化・伝統の継承と発信

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
行事に参加した人及び関わった人の満足度	生涯学習課	%	(H27) 80.1	95	91	95	-	82.1	-
町内文化施設への入館・入場者数	生涯学習課	万人	(H27) 2.1	1.6	2.2	2.1	1.5	2.2	目標達成が困難

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
各館企画展・体験学習会・講座他	イベントが新型コロナウイルスのため、全て中止したため、実施できていない。	イベントが新型コロナウイルスのため、全て中止したため、実施できていない。	・伝承館企画展、体験会・芸北民俗博物館講座・歴史館企画展、講座及び体験会他を計画しているが、コロナによる変更あり。
各館企画展・体験学習会・講座他	伝承館企画展・芸北民俗博物館講座	新型コロナウイルスのため、休館や、外出自粛の影響で入館者数の減となった。	・伝承館企画展、体験会・芸北民俗博物館講座・歴史館企画展、講座及び体験会他を計画しているが、コロナによる変更あり。

2. 住みたくなる・帰ってきたくなるまちづくり

(1) 移住・定住を促すPRと受け入れ体制の強化

指 標	担当課	単位	基準値	実績値				目標値	R2年度末 進捗状況
			(年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
Uターン奨励金の交付件数	まちづくり推進課	件	(H27) 19	9	11	13	9	30	概ね順調
北広島町只今倶楽部会員数	まちづくり推進課	人	(H28) 2	0	0	0	2	15	完了
定住施策捕捉分による定住者数	まちづくり推進課	人	(H27) 46	54	64	67	62	のべ300 (H29-R3)	概ね順調

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
Uターン促進対策事業	転入時に制度を周知申請のあったものに補助金交付	若年層のニーズに沿った施策が必要	ふるさと回帰のきっかけとなる補助金の見直し
Uターン促進対策事業	公式LINE等による情報発信をすることで会員に限らず情報収集が可能となったため事業見直しにより廃止した。	事業廃止	—
住宅建築補助 空き家情報バンク Uターン奨励金	申請があった者に補助金等交付 うち「Uターン者」 住宅建築補助 35人 空き家バンク 18人 Uターン奨励金 9人	町内在住者の申請が大半を占めており転出抑制にはなっているが、UIJターン者の申請は伸び悩んでいる。	定住促進となる補助金の見直し 移住後のフォローアップの強化と移住者間のネットワークづくり

(2) 暮らしの基盤となる住環境の充実

指 標	担当課	単位	基準値	実績値				目標値	R2年度末 進捗状況
			(年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
空き家バンク新規登録件数	まちづくり推進課	件	(H22~26) 94	87	66	87	112	100 (H29-R3)	概ね順調
空き家情報バンクでの物件の成約数	まちづくり推進課	件	(H27) 20	27	27	30	30	50	概ね順調

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
空き家情報バンク制度事業	登録有効期間が経過した利用者登録者名簿の精査を実施。	空き家物件の人气が高まっており新規利用登録者数は微増	引き続き暮らしアドバイザーによる相談強化GIS機能活用
空き家情報バンク制度事業	コロナ禍で移動制限中、内見中止期間があった。 農地付き物件は農林課（農業委員会）と連携し情報共有した。	新規物件の掘り起こし 登録物件の老朽化	移住後のフォローアップ 地域とのマッチング（集落支援員との連携）

3. 夢と希望、豊かな学び合いにあふれたまちづくり

(1) 子供の健やかな成長を支える環境づくり

指 標	担当課	単位	基準値	実績値				目標値	R2年度末 進捗状況
			(年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
「子育てに不安や負担を感じない」と思う人の割合	福祉課	%	(H25) 49.8	—	普通44.3 やや満足16.9	—	—	60.0	—
「子育て世代包括支援センター」の設置	福祉課		—	—	設置	完了	完了	完了	完了
保育施設適正配置	福祉課		—	—	説明会開催	説明会開催・準備期間	準備期間	配置完了	概ね順調
「遊び場創生プロジェクト」による遊び場環境確保	福祉課		—	計画策定	—	—	遊具設置	—	目標達成が困難
婚活イベント参加者数	福祉課	人	(H28) 36	84	75	70	0	のべ200 (H29-R3)	概ね順調
婚姻届提出件数 【総合戦略に記載するKPI】	町民課	組	(H30) 46		46	46	56	60 (R6)	概ね順調
ひろしま出会いサポートセンター 【総合戦略に記載するKPI】	福祉課	人	(H28) 36	84	75	60	62	のべ200 (H29-R3)	概ね順調

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
	アンケート調査の実施を行っていない。	不明	アンケート調査の実施は行わない。
相談支援 全戸訪問 ブックスター 命の授業	相談支援体制の構築 ネウボラの周知 子育て支援アプリ「母子モ」活用	相談件数 面談 1,545件 電話 572件	引き続き、妊娠期から子育て期の切れ目のないサポートを実施 虐待の早期発見・早期支援
保育施設適正配置	川戸保育所及び芸北つくし保育園保護者説明会実施新庄保育所保護者説明会実施	川戸保育所及び芸北つくし保育園閉所（園）	新庄保育所について、保護者及び地域へ説明会を実施し令和3年度末閉所を検討
きたひろ遊び場マップ作成	ホームページにきたひろ遊び場マップを掲載	新規の遊具設置は困難	遊具の設置については、財政状況を鑑みると困難
婚活イベントを実施する団体等へ支援する	新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベント中止	—	引き続きイベント実施団体へ支援を行う
県との連携	県との連携	登録者数内訳 男性35人、女性27人	センター運営を県から公益財団法人広島子ども夢財団に移管。「こいのわ出会いサポートセンター」と名称変更

(2) ふるさとに誇りを持ち、たくましく生きる子供・若者・大人の育成									
指 標	担当課	単 位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R 2 年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
将来、北広島町に住みたい と思う中学校3年生の割合	生涯学習課	%	(H27) 35	35	33	35	40	50以上	少し遅れている
全国体力・運動能力、運動 習慣等調査における小学校 5年生及び中学校2年生の 体力合計点	学校教育課	点	(H27) 小5 男 61.18 女 64.35 中2 男 49.20 女 58.46	小5 男59.58 女60.13 中2 男45.32 女55.77	小5 男58.44 女62.86 中2 男46.29 女59.19	小5 男59.50 女63.00 中2 男46.50 女59.50	小5 男55.00 女60.00 中2 男43.68 女48.89	小5 男61.25 女64.40 中2 男49.30 女58.50	概ね順調
広島県「基礎・基本」定着 状況調査及び全国学力・学 習状況調査における平均通 過率	学校教育課	%	(H28) 県65.7 全国64.9	県68.7 全国65.5	全国63.6	全国64.5	全国73.4 ※コロナ禍の影 響で、本調査が 中止となったた め、上記の数値 は学校独自で同 内容の問題に取 り組んだ数校分 の通過率の平均 を、参考値とし て示している。	県平均 プラス3 全国平均 プラス5	概ね順調
地元高等学校数	学校教育課	校	(H27) 3	3	3	3	3 維持	3 維持	概ね順調
地域による学校支援組織の 数	学校教育課	組織	(H27) 3	3	3	3	3	4	概ね順調
コミュニティ・スクール 指定校数	学校教育課	校	(H28) 2	3	3	3	6 4組織	10 7組織	概ね順調

主な事業	R 2 年度 の 取 組 状 況	成果及び課題	R 3 年度 の 取 組 の 方 向 性
小学校校長会主催 の陸上記録会への 助成	・県教委指導主事要請訪問等を活用して、 各校の要望に応じた支援を行った。 ・コロナ禍の影響で調査自体は中止とな ったが、可能な限り各種目を実施するよ うに促し、得られた結果を指導に生かす ように助言した。	コロナ禍の影響で、体育の授業や体育的 行事等を、通常通り実施することが困難 であった。 可能な限り対策を行って取り組んだが、 児童生徒の運動量も減少し、目標値に迫 ることができなかった。	・全国や県の調査は、小5及び中2を対 象としているが、本町においては、全学 年（小1～中3）を対象として調査を実 施し、その結果を指導に生かすように助 言する。 ・授業改善と体力づくりに関わる情報提 供及び機会を捉えた指導助言を行う。 ・各校の体力づくりの取組についての実 践交流の場を設置する。
町主催の「学びの 変革推進協議会 (年3回)を実施	全国学力・学習状況調査は中止となつた ため、学校単位で実施したものについて は、その結果をもとに児童生徒の実態分 析を行った。	・各教科において、目標値を上回った。 ・記述式の問題の正答率が低い。	・町主催の「学びの変革推進協議会」に おいて、各校の研究推進計画を交流する とともに、授業改善等に係る好事例を積 極的に情報提供していく。 ・全国学力・学習状況調査の結果及び、 児童生徒学習意識調査の分析を踏まえた 授業改善に係る指導助言を行う。
地元高等学校の特 色ある取組、中高 連携業、クラブ活 動などに対し支援	地元高等学校存続に向け、各校の魅力づ くりに向けた取り組みに対し支援を実施	・補助金を活用し、各学校が特色ある取 組みを実施	各校の魅力づくりに向けた取り組みに対 し、引き続き支援を実施。
保育所、小・中学 校、高校との連携 のための会議を実 施	課題に応じて、適宜、委員会・連携会等 を開催	スムーズな就学・進路支援と教育内容の 充実を図るため、継続的に会議を開催	・会議等において学校運営や教育活動等 に対し、情報共有、課題分析を行いなが ら取り組んでいく。 ・未設置豊平地区についても、小中一貫 校の強みを生かしなら、同様の組み 組を実施し機能充実を図る。
学校と地域、家庭 との連携のための 会議を実施	学校運営協議会の開催（大朝3回・壬 生4回・八重4回・豊平3回）	開かれた学校づくりを進めるため、継続 的に会議を開催	・会議において学校運営や教育活動等に 対し意見をいただきながら、学校運営に 還元していく。 ・令和3年度設置の芸北小・中、八重東 小、本地小の円滑な運営、千代田中・新 庄小の設置について検討・準備を進めて いく。

(3) 生涯を通じた学習・スポーツの振興

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
4地域の公民館（地域づくりセンター）の利用者数（図書館利用を除く）	まちづくり推進課 生涯学習課	万人	(H27) 5.3	5.1	5.5	4.6	2.3	5.8	遅れている
チャレンジデーの全町参加率(生涯スポーツの推進)	まちづくり推進課 生涯学習課	%	(H28) 48	52.10	56.40	59.60	0	55	完了

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、施設が利用できなかった等の原因により、目標値を下回った	新型コロナウイルスにより利用制限を行った。	コロナ禍における事業展開方法の検討	コロナ禍における町民の生涯学習事業の展開、アフターコロナに向けた事業準備
チャレンジデー2020中止	令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け実施を中止した。	コロナ禍における町民の運動実施率の向上に向けた取り組みを検討する必要がある。	当初予定していた5月から新型コロナウイルスの影響を受け10月に延期となった。目標値は越えたがさらなる町民のスポーツ実施率向上につながる事業なるように検討。

施策分野III 心身ともに健やかで安心して暮らせるまち

1. 誰もが安心して暮らせるまちづくり

(1) 健康づくり・元気づくりの推進

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
元気づくり推進事業における元気リーダー実人数	保健課	人	(H27) 215	404	446	463	477	460	概ね順調
元気づくり開催か所数・参加人数	保健課	か所 のべ 人数	(H27) 26 (H27) 18,733	50 28,966	56 31,783	60 28,248	61 25,882	80 33,000	概ね順調
がん検診受診率	保健課	%	(H27) 27.7	13.0	12.3	12.3	12.47	50以上	少し遅れている
町内の休日・夜間の救急医療機関	保健課	機関数	(H28) 3	3	3	3	3	継続	概ね順調
12週以降の妊娠届出数（母子健康手帳の早期交付）	保健課	%	(H26) 2.6	8.0	10.4	8.8	6	0	目標達成が困難

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
・元気リーダー養成研修3月（後期） ・事業周知：医療機関ポスター掲示、広報記事、きたひろネット放送、ホームページ	・令和2年4～5月（令和2年3月からの休止継続）は、新型コロナウイルス感染症対策のため、活動を中止した。6月から再開したが、中止期間中も委託事業者が参加者の意欲が低下しないためにチラシ作成配布、電話連絡等を継続して行った。 ・毎月、委託業者と連携会議を開催し、実施状況報告、対応の必要な参加者の情報共有等を行った。	・元気リーダー477人	・平成25年度から事業を開始し、8年経過した。 ・体力測定等を行い実施状況や成果を見える化する。 ・元気リーダーの意欲が継続するために、委託事業者と連携し事業内容を工夫し実施する。
・集会所コース：後期1か所 ・元気リーダーコース：令和2年度末60か所	・令和2年度末時点で、81.6%（129/158行政区）の地域で実施している。 ・広報取材のため、実施会場に町担当者が出向き、参加者に取材し、毎月記事を掲載した。	・延25,882人が参加した。 ・延参加者数は前年度比減少したが、全61会場は中止することなく継続できている。	・令和3年度の集会所コースは2か所開催予定。 ・委託業者と連携し、元気リーダーコースを維持する。
・集団健診 14日間4会場 ・人間ドック検診 6医療機関 ・医療機関検診 23医療機関	・受診勧奨：家庭訪問、電話、通知郵送、広報、きたひろネット放送 ・がん検診の要精密検査対象者に受診勧奨を行い、受診状況や受診結果を把握した。	検診受診者数： 胃がん1,137人、大腸がん1,591人、肺がん1,462人、子宮頸がん653人、乳がん645人	・特定健診受診勧奨に併せて、がん検診受診勧奨も行う。 ・前年度のがん検診受診者を整理し、受診勧奨する。 ・元気づくり推進事業等の事業参加者に受診勧奨する。
・在宅当番医制運営事業委託 ・安佐地区病院群輪番制病院運営事業委託 ・救急病院運営事業補助金（町内3医療機関）	・在宅当番医制運営事業の委託費を増額した。 （対応可能医療機関の負担軽減のため）	・休日・夜間の救急医療体制が確保できた。	・広島広域都市圏救急相談センター#7119を継続し、救急医療対応医療機関の負担を軽減する。
・母子健康手帳の交付（保健課、保健センター、子育て支援センター）	・母子健康手帳の交付場所を拡充し、子育て支援センター（ネウボラきたひろしまサブ拠点4か所）でも交付した。 ・ホームページやネウボラきたひろしまアプリ等において、早期交付を周知した。	・母子健康手帳交付99人（12週以降届出6人）	・高校生への性教育（依頼時）や、中学生への命の授業などの機会に、妊娠届出の必要性や大切さについて講義する。 ・経産婦には家族計画について面談時に説明する。



(2) 高齢者福祉の推進									
指 標	担当課	単位	基準値	実績値				目標値	R2年度末進捗状況
			(年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
介護認定率	保健課	%	(H27) 23.7	23.4	23.7	23.8	24.1	22.2	—
認知症サポーター数 (のべ人数)	保健課	人	(H28) 3,303	4,104	4,827	5,452	5,634	6,000	概ね順調
介護予防ボランティアの養成人数 (実人数)	保健課	人	(H27) 42	64	40	17	0	200	目標達成が困難
地域包括ケア推進のための在宅医療・介護推進会議回数	保健課	回/年	(H28) 2	1	3	3	1	4	少し遅れている
認知症カフェの開設か所数	保健課	か所	(H28) 1	2	2	2	0	12	少し遅れている

主な事業	R2年度 of 取組状況	成果及び課題	R3年度 of 取組の方向性
認知症について正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り、応援する人「認知症サポーター」の養成を行う。	R2年度の受講者数は182人。一般の方に11回実施し、110人。キッズ（小中高生）に4回実施し、72人。	新型コロナウイルスの感染拡大により、例年通りの講座の開催ができなかった。	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、既存の団体等と連携し実施していくキッズは、引き続き町内の小中高生に実施していく。オンラインでの講座も可能。
介護予防の知識及び活動について講座を受けて、介護教室のボランティアや担い手の育成を行う。	新型コロナ感染拡大により、講座の実施を中止。活動する介護教室も人員を最低限にして実施しており、活動の場もなかった。	講座の開催を中止。	学び塾での人材育成の講座に介護予防の内容も取り入れ、活動する人材を増やしたい。
北広島町民が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療と介護が連携して、切れ目のない提供体制を構築するために、医療・介護の関係者による会議や研修を行う。	新型コロナウイルス感染症の対応について、医療と介護で情報共有、対応の検討を行った。	新型コロナウイルスの感染拡大により、研修会等ができなかった。	引き続き、医療・介護の関係者による連携会議や研修会を実施していく。
認知症カフェを開催する際に、準備金として補助金を交付する。	認知症カフェを開設する際に、立ち上げの支援を行ってきたが、新型コロナ感染拡大により、既存のカフェの開催も中止されていた。そのため、新たに開設の立ち上げ支援を行うことができなかった。	R元年度に開設準備をしてR3年度から開設する予定であった2か所のカフェは、全く開催できていない。	新たに認知症カフェの開設に興味のある人や団体等があれば、立ち上げ支援を行っていく。既存カフェも再開に向けて支援を行っていく。

(3) 障害者福祉の推進									
指 標	担当課	単位	基準値	実績値				目標値	R2年度末進捗状況
			(年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
地域生活支援拠点等の整備か所数	福祉課	か所	(H28) 0	0	0	0	0	1	概ね順調
福祉施設からの一般就労への移行者数	福祉課	人	(H25) 0	2	4	2	2	2	完了
放課後等デイサービス事業所の参入か所数	福祉課	か所	(H28) 0	0	1	2	2	1	完了

主な事業	R2年度 of 取組状況	成果及び課題	R3年度 of 取組の方向性
町内に地域生活支援拠点を整備	町内事業所と事業実施に向けて調整	町内事業所と調整を図り、R3年度から事業実施となった。	町内事業所と委託契約を締結し、事業実施
福祉施設利用者の一般就労への支援	就労移行支援事業所、ハローワーク等との連携	完了	既存の就労支援事業所や広島県障害者就業・生活支援センター、ハローワーク等と連携していく。
サービス提供事業所の新規参入	事業所と連携し、サービス提供支援	完了	引き続き、事業所と連携しサービス提供を行う。

(4) 地域福祉の推進									
指 標	担当課	単位	基準値	実績値				目標値	R2年度末進捗状況
			(年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
地域福祉計画の策定	福祉課		—	—	—	意識調査	計画策定済み	策定完了	完了

主な事業	R2年度 of 取組状況	成果及び課題	R3年度 of 取組の方向性
地域福祉計画の策定	地域福祉計画策定委員会を開催し、計画を策定済み	完了	地域福祉計画を基に、今後、社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画と連携

2. みんながお互いを尊重し合えるまちづくり

(1) 人権が尊重され差別のない社会の実現									
指 標	担当課	単位	基準値	実績値				目標値	R2年度末進捗状況
			(年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
人権教育・啓発プランの策定	町民課		—	策定中	策定中	プラン本体策定済	推進委員会設置要綱策定	策定完了	遅れている

主な事業	R2年度 of 取組状況	成果及び課題	R3年度 of 取組の方向性
人権教育・啓発推進プラン	北広島町人権対策推進委員会設置要綱を策定	委員会の開催方法等が課題	北広島町人権対策推進委員会の開催

(2) 男女が共に活躍できる社会の実現									
指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
政策・方針決定過程への女性の参画割合	町民課	%	(H28) 24.1	28.90	25.50	28.40	29.60	30	遅れている
男女共同参画セミナー参加率(全町民あたり)	町民課	%	(H28) 1	0.10	0.10	0.40	0.00	3	目標達成が困難

## 施策分野Ⅳ やすらぎと便利さを感じられるまち

### 1. 生活の利便性が確保されたまちづくり

(1) 地域の拠点づくりとネットワークの形成									
指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
計画的な土地利用の前提となる地籍調査の進捗率	管財課	%	(H27) 74.83	75.27	75.45	75.62	75.70	77.18	少し遅れている
都市計画区域内の用途地域見直し	建設課		—	一部見直し済	見直し完了			見直し完了	完了
都市再生整備計画の進捗率	建設課		—	実施中	実施中	実施中	実施中	100%	概ね順調

### (2) 交通環境の整備と移動に係る利便性の確保

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
北広島町道路整備計画に基づく町道整備率	建設課	%	(H28) 72.1	72.20	72.20	72.22	72.84	74	目標達成が困難
町内公共交通利用者数	まちづくり推進課	人	(H25)220,000	247,890	235,056	246,186	239,371	232,000 (H31)	概ね順調

### (3) 情報通信技術の基盤整備と利活用の推進

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
きたひろネット加入率	総務課	%	(H28) 66.5	67.9	67.9	68.1	68.0	70	概ね順調
データ放送の導入	総務課		—	導入完了	導入完了	導入完了	導入完了	導入完了	完了

### 2. 自然と調和した暮らしと景観を守るまちづくり

#### (1) 自然環境の保全と良好な生活環境の維持

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
固形一般廃棄物(家庭系)の排出量の削減率	町民課	t	(H27) 2,731	2,764	2,812	2,843	2,916	5%削減	遅れている
事業系一般廃棄物の排出量の削減率	町民課	t	(H27) 2,091	2,109	2,131	1,977	1,953	5%削減	概ね順調
野生生物保護区の設置数	生涯学習課	か所	(H28) 1	1	1	1	7 (2件)	5	概ね順調

#### (2) 北広島らしい美しい景観の継承

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
指定地外のテングシデ自生地を買収・買収地の立木補償割合	生涯学習課	%	(H28) 0	100		完了	100	100	完了

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
審議会等委員への女性の登用調査	審議会等委員への女性の登用調査を実施	継続して調査を実施	審議会等委員への女性の登用調査を実施
男女共同参画セミナー	新型コロナウイルス感染拡大防止のため講演会を中止した。	参加者を増やすための施策	10月頃、2地域で男女共同参画セミナーを開催予定

※会議後に下線部分の記載を追記

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
地籍調査 国調修正	寺原の一部、川井の一部の地籍調査を実施	認証請求の未請求地区の早期解消	大朝の一部、川戸の一部、寺原の一部、川井の一部、蔵迫の一部の地籍調査を予定(一筆地調査は蔵迫の一部、川井の一部を予定)

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
道路改良	町道5路線を工事	予算不足であるため、整備率が上がらない。	限られた予算の中で引き続き、生活利便性の向上を図る。
町内公共交通再編事業	地域公共交通再編計画に基づくダイヤ改正、利用実態に応じた運行形態の変更(不定期運行)・ダイヤ改正を実施	・利用実績の応じた運行形態の変更・ダイヤ改正 ・車両の小型化の実施	・地域公共交通再編計画に基づく再編の実施 ・利用実態に応じた再編の実施

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
加入促進	防災無線廃止に伴う新規加入者の促進	計画どおり	防災無線廃止に伴う新規加入者の促進を継続

※会議後に下線部分の記載誤りのため修正(72.23⇒72.84)

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
資源ごみリサイクル町民総ぐるみ運動事業	取組団体:61団体 収集量:383t	社会状況の変化への対応等	分別モデル事業の推進 取組団体の募集
多量排出事業所への訪問指導等	コロナ禍のため中止	事業所の理解、協力	大規模老人福祉施設 大型スーパーでの実施
生物多様性審議会	八幡湿原6か所の指定	目標値の数は達成したが、さらに保護区の設定ができるか検討する。	指定の実効性を持たせるための取組を検討

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性

(3) 水を大切に暮らすの維持

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
管路更新計画策定	上下水道課		—	策定完了				策定完了	完了
千代田・大朝・新庄浄化センターの長寿命化計画の実施割合	上下水道課	%	(H28) 71.0	70.00	82.60	95.10	100	100	完了
汚水最適処理の実施割合	上下水道課	%	(H27) 88.4	89.70	89.90	89.90	90	96	遅れている

3. 地域で共に助け合う安全・安心のまちづくり

(1) 災害や緊急時に強い地域社会の実現

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
住民・自主防災組織・幼少年女性防火クラブ員の参加人数 (のべ人数)	危機管理課	人	(H26) 5,000	9,612	9,933	15,445	10,935	25,000 (H27-R元)	概ね順調
救急救命講習の受講者数 (年間受講者数)	消防本部	人	(H27) 1,950	2,527	2,136	1,924	1,257	2,500	遅れている

(2) 安全な暮らしの確保

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
交通事故件数	総務課	件	(H27) 43	39	34	28	15	30	概ね順調
交通事故死者数	総務課	人	(H27) 0	1	1	0	0	0	概ね順調

施策分野 V 住民と行政が一体となって未来を創造するまち

1. 町民の視点に立った協働のまちづくり

(1) 町民と行政による協働のまちづくり

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
集落活性化支援地域数	まちづくり推進課	か所	(H26) 7	2	1	5	6	のべ20 (H29-R3)	概ね順調
ワークショップ参加者数	まちづくり推進課	人	(H28) 94	282	290	310	322	200	概ね順調
ふるさと寄附金額	まちづくり推進課	万円	(H27) 3,670	1,479.3	1,902.0	1,116.1	3,880.6	10,000	少し遅れている

2. 健全な行財政運営によるまちづくり

(1) 健全な行財政改革

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
適正な定員管理と適正配置の設定 (総職員数)	総務課	人	(H28) 337	336	324	300	287	326	概ね順調
所得税・住民税の電子申告システム導入	税務課		—			導入完了	導入完了	導入完了	完了
公共施設等総合管理計画の個別計画策定	管財課		—	作成中	作成中	作成中	個別施設計画の策定完了	個別施設計画の策定完了	完了

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
老朽化した機器の更新工事	予定通り更新工事完了	目標値達成	新たな老朽化対策事業としてストックマネジメントに取り組む。
小型合併浄化槽の普及促進	町広報、町HP等を通じ普及啓発	微増傾向にはあるが目標値には届いていない。	R2年度に引き続き普及啓発に取り組む。

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
防火・防災講習及び訓練の実施	自主防災組織、自治会、学校でのまちづくり出前講座 自主防災組織等連絡会の開催 幼少年女性防火クラブ員への防火防災講習事業所への消防訓練指導	自主防災組織等の行動に結びついていないか確認できていない。	・身の回りの危険を知り、危険を察知し、行動できることを目標項目として防火・防災講習を行う。 ・安全な避難場所を日頃から確認しておく、災害種別に応じた避難行動をとるよう講習する。
救急講習会等の実施	各事業所や学校等で講習会を実施	新型コロナウイルス感染防止対策により講習会等が制限されたため実績値が減少となった。	新型コロナウイルスの感染状況を見据えつつ町民に広く救急講習会の必要性を呼びかける。

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
テント村・フラッグリレー	交通安全啓発	事故件数の減少	事故ゼロを目指して一層の啓発を継続

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
地域協議会等	地域協議会を軸に地域活性化に取り組む団体を支援する。	地域によって、実施状況に差が出ている。	地域協議会を中心に、各地域の実施について行政と協働して推進していく。
地域協議会等	少人数でも回数を増やし、地域に沿った内容で集まりやすい会議を開催	集まることが出来ない中で活動が停滞している。	Web会議の活用等地域の話し合いができる環境づくりを支援していく。
ふるさと寄附金事業	返礼品目の登録数の増 サイト内特設ページの開設	返礼品新規登録により寄附金増にむすびついた。	商工会、観光協会等関係機関と連携した新たな返礼品登録、開発

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
適正な定員管理	組織定数の見直し	計画より早く削減できている。	業務量を確認しながら組織定数を整理していく



(3) 水を大切に暮らすの維持

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
管路更新計画策定	上下水道課		—	策定完了				策定完了	完了
千代田・大朝・新庄浄化センターの長寿命化計画の実施割合	上下水道課	%	(H28) 71.0	70.00	82.60	95.10	100	100	完了
汚水最適処理の実施割合	上下水道課	%	(H27) 88.4	89.70	89.90	89.90	90	96	遅れている

3. 地域で共に助け合う安全・安心のまちづくり

(1) 災害や緊急時に強い地域社会の実現

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
住民・自主防災組織・幼少年女性防火クラブ員の参加人数 (のべ人数)	危機管理課	人	(H26) 5,000	9,612	9,933	15,445	10,935	25,000 (H27-R元)	概ね順調
救急救命講習の受講者数 (年間受講者数)	消防本部	人	(H27) 1,950	2,527	2,136	1,924	1,257	2,500	遅れている

(2) 安全な暮らしの確保

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
交通事故件数	総務課	件	(H27) 43	39	34	28	15	30	概ね順調
交通事故死者数	総務課	人	(H27) 0	1	1	0	0	0	概ね順調

施策分野 V 住民と行政が一体となって未来を創造するまち

1. 町民の視点に立った協働のまちづくり

(1) 町民と行政による協働のまちづくり

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
集落活性化支援地域数	まちづくり推進課	か所	(H26) 7	2	1	5	6	のべ20 (H29-R3)	概ね順調
ワークショップ参加者数	まちづくり推進課	人	(H28) 94	282	290	310	322	200	概ね順調
ふるさと寄附金額	まちづくり推進課	万円	(H27) 3,670	1,479.3	1,902.0	1,116.1	3,880.6	10,000	少し遅れている

2. 健全な行財政運営によるまちづくり

(1) 健全な行財政改革

指 標	担当課	単位	基準値 (年度)	実績値				目標値 R3年度	R2年度末 進捗状況
				H29年度	H30年度	R元年度	R2年度		
適正な定員管理と適正配置の設定 (総職員数)	総務課	人	(H28) 337	336	324	300	287	326	概ね順調
所得税・住民税の電子申告システム導入	税務課		—			導入完了	導入完了	導入完了	完了
公共施設等総合管理計画の個別計画策定	管財課		—	作成中	作成中	作成中	個別施設計画の策定完了	個別施設計画の策定完了	完了

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
老朽化した機器の更新工事	予定通り更新工事完了	目標値達成	新たな老朽化対策事業としてストックマネジメントに取り組む。
小型合併浄化槽の普及促進	町広報、町HP等を通じ普及啓発	微増傾向にはあるが目標値には届いていない。	R2年度に引き続き普及啓発に取り組む。

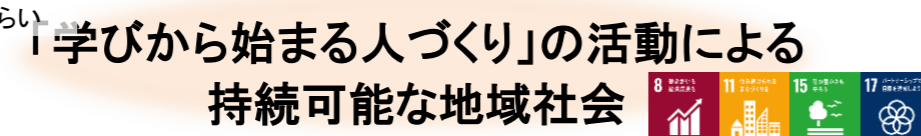
主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
防火・防災講習及び訓練の実施	自主防災組織、自治会、学校でのまちづくり出前講座 自主防災組織等連絡会の開催 幼少年女性防火クラブ員への防火防災講習事業所への消防訓練指導	自主防災組織等の行動に結びついていないか確認できていない。	・身の回りの危険を知り、危険を察知し、行動できることを目標項目として防火・防災講習を行う。 ・安全な避難場所を日頃から確認しておき、災害種別に応じた避難行動をとるよう講習する。
救急講習会等の実施	各事業所や学校等で講習会を実施	新型コロナウイルス感染防止対策により講習会等が制限されたため実績値が減少となった。	新型コロナウイルスの感染状況を見据えつつ町民に広く救急講習会の必要性を呼びかける。

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
テント村・フラッグリレー	交通安全啓発	事故件数の減少	事故ゼロを目指して一層の啓発を継続

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
地域協議会等	地域協議会を軸に地域活性化に取り組む団体を支援する。	地域によって、実施状況に差が出ている。	地域協議会を中心に、各地域の実施について行政と協働して推進していく。
地域協議会等	少人数でも回数を増やし、地域に沿った内容で集まりやすい会議を開催	集まることが出来ない中で活動が停滞している。	Web会議の活用等地域の話し合いができる環境づくりを支援していく。
ふるさと寄附金事業	返礼品目の登録数の増 サイト内特設ページの開設	返礼品新規登録により寄附金増にむすびついた。	商工会、観光協会等関係機関と連携した新たな返礼品登録、開発

主な事業	R2年度の取組状況	成果及び課題	R3年度の取組の方向性
適正な定員管理	組織定数の見直し	計画より早く削減できている。	業務量を確認しながら組織定数を整理していく

# 令和2年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

事業名	担い手育成総合事業		担当課名	まちづくり推進課					
総合戦略における基本目標	<p>■ 基本目標4 地域資源を生かした活力あふれる暮らしの創出</p> <p>■ 方向1 健康づくり・元気づくりの促進と地域づくりを担う人材の育成</p>								
事業始期	令和元年6月		事業終期	令和4年3月					
	令和元年度 決算 (1年目)	令和2年度 決算見込み (2年目)	令和3年度 当初予算 (3年目)		計				
事業費	16,368千円	8,546千円	6,550千円		31,464千円				
交付金充当額	8,184千円	3,640千円	3,275千円		15,099千円				
事業の目的	一人ひとりが地域課題に関心を持ち、みんなで地域づくりをするという意識を持つことで、将来的に地域で活躍する複数人のキーマンを育成する。								
事業概要	<p><b>1. 事業概要</b></p> <p>北広島町は長期総合計画において当町がめざすまちの将来像として『新たな感動・活力を創る北広島～ひとのチカラがあるれるまち～』を掲げている。そして重点方針を『地域に根付き、未来を担うひとづくり』としている。「きたひろ学び塾～With」は『「学びから始まるひとづくり」の活動による、持続可能な地域社会』を理念に、「次世代を担う地域リーダーの育成」に向けた取り組みとして令和元年度から本格稼働した。</p> <p>(1)事業のねらい</p> <div style="text-align: center;">  <p><b>「学びから始まる人づくり」の活動による 持続可能な地域社会</b></p> <p>これからもずっと元気な「きたひろしま」で在るために...</p> <p><b>持続可能なコミュニティの実現</b></p> <p>学ぶことを通じて地域の課題を知る。 地域に関心を持つことが、地域の活性化につながる第一歩となる。</p> <p>守り、はぐくみ、伝えたい</p> <p><b>地域への愛着醸成</b></p> <p>住民が自ら行動することにより、地域の新しい魅力を発見したり作り出すことができる。 それにより地域のことがもっと好きになる。</p> <p>みんなで持ち寄る知恵とワザ、みんなで取り組む「まちづくり」</p> <p><b>多様なつながりの創出</b></p> <p>『きたひろ地域づくりプラットフォーム』すなわち人や情報を結びつける土台を形成することにより、『自発的な地域づくり』の仲間の輪が広がる。</p> </div> <p>(2)事業のねらいと効果</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>地域への関心の向上と 地域課題の共有</b></p> <p>■ 地域課題の解決に取り組もうとする人材の育成のために、必要な知識・技術の習得を後押しする。 ■ 地域の課題を『自分事』として認識し、地域住民や公の組織が情報を共有できる環境を整備する。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><b>地域における取組みの 活性化</b></p> <p>■ 学びを通じて地域課題に取り組む人材を育成する。 ■ 『きたひろ学び塾』で習得した知識・技術を活用した地域での取組みを活性化させる。</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>横断的な取組みの推進</b></p> <p>■ 公の組織が相互に繋がることにより、職員それぞれの知識や経験を活用する。 ■ 職員間で情報を共有する。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p><b>人のつながりと 情報共有の場の創出</b></p> <p>■ 民と民、官と官、そして民と官が連携することにより、『きたひろ地域づくりプラットフォーム』の機能を円滑かつ効果的に発揮させる。</p> </td> </tr> </table>					<p><b>地域への関心の向上と 地域課題の共有</b></p> <p>■ 地域課題の解決に取り組もうとする人材の育成のために、必要な知識・技術の習得を後押しする。 ■ 地域の課題を『自分事』として認識し、地域住民や公の組織が情報を共有できる環境を整備する。</p>	<p><b>地域における取組みの 活性化</b></p> <p>■ 学びを通じて地域課題に取り組む人材を育成する。 ■ 『きたひろ学び塾』で習得した知識・技術を活用した地域での取組みを活性化させる。</p>	<p><b>横断的な取組みの推進</b></p> <p>■ 公の組織が相互に繋がることにより、職員それぞれの知識や経験を活用する。 ■ 職員間で情報を共有する。</p>	<p><b>人のつながりと 情報共有の場の創出</b></p> <p>■ 民と民、官と官、そして民と官が連携することにより、『きたひろ地域づくりプラットフォーム』の機能を円滑かつ効果的に発揮させる。</p>
<p><b>地域への関心の向上と 地域課題の共有</b></p> <p>■ 地域課題の解決に取り組もうとする人材の育成のために、必要な知識・技術の習得を後押しする。 ■ 地域の課題を『自分事』として認識し、地域住民や公の組織が情報を共有できる環境を整備する。</p>	<p><b>地域における取組みの 活性化</b></p> <p>■ 学びを通じて地域課題に取り組む人材を育成する。 ■ 『きたひろ学び塾』で習得した知識・技術を活用した地域での取組みを活性化させる。</p>								
<p><b>横断的な取組みの推進</b></p> <p>■ 公の組織が相互に繋がることにより、職員それぞれの知識や経験を活用する。 ■ 職員間で情報を共有する。</p>	<p><b>人のつながりと 情報共有の場の創出</b></p> <p>■ 民と民、官と官、そして民と官が連携することにより、『きたひろ地域づくりプラットフォーム』の機能を円滑かつ効果的に発揮させる。</p>								

事業概要	<p><b>2. 事業の特色</b></p> <p>「きたひろ学び塾～With」は長期総合計画の5つの施策分野に基づき、「5学部6プログラム」で構成されている。この5つの学部のいずれかに各支所や消防本部を含む全課が振り分けられ、行政組織全体での取り組みを展開している。</p> <p>■ 「きたひろ学び塾～With」は全ての部署が連携して行う事業である。 ■ 学部運営やプログラムの企画・運営において、現在の所属課に囚われず、これまでの業務で培ってきた知識や技術を活用できる場となる。 ■ 官民連携にとどまらず、課や職員間の連携による「協働のまちづくり」が期待できる。 ■ 「きたひろ学び塾～With」はそれらの人と知識・技術・情報をつないでいく共有の場(プラットフォーム)の役割を果たすことができる。</p> 																																																										
令和2年度の取組と課題	<p>新型コロナウイルスの影響により、従来のスタイルである「一会場集合型」のプログラムの開催が困難となった。それに伴い、プログラムの中止や当初計画の大幅な変更を余儀なくされた。そのような状況の中、新たな取り組みとして、WEB会議システムを活用した「サテライト型」のプログラムを実施した学部もある。また、会場を屋外とするなど各学部が工夫を凝らし、令和2年度は4つの学部が合計9回のプログラムを実施した。プログラムの内容は、「実りと活力創造学部」による「有害鳥獣対策における箱わな貸出制度および活用の実践」・「やすらぎ便利創造学部」による「芸北中学校と大朝中学校の生徒を対象とした「防災講座」・「官民一体の未来創造学部」による「地域リーダー育成講座」および同学部による「行政制度を活用した地域インフラの修繕技法を学ぶ講座」である。受講者数は延べ200人に至る。いずれのプログラムでも受講者アンケートを実施し、98.9%の参加者が参加したプログラムの内容について「満足」との回答をしている。</p> <p>また、令和2年度の成果として、実際に地域のインフラ整備に取り組んだ受講者グループの出現や、制度活用事例数の増加および地域団体の意見交換の場の確立等が挙げられる。</p>																																																										
重要業績評価指標 (KPI)	<p><b>1. 人材育成プログラム受講者の満足度の向上</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和元年度 (1年目)</th> <th>令和2年度 (2年目)</th> <th>令和3年度 (3年目)</th> <th>KPI増加分 (累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>-</td> <td>60%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>91.9%</td> <td>8.10%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2. 地域におけるワールドカフェ等の参加者の増加数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和元年度 (1年目)</th> <th>令和2年度 (2年目)</th> <th>令和3年度 (3年目)</th> <th>KPI増加分 (累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>200人</td> <td>50人</td> <td>100人</td> <td>150人</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>81人</td> <td>24人</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3. 地域活動団体等における活動実施件数の増加</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和元年度 (1年目)</th> <th>令和2年度 (2年目)</th> <th>令和3年度 (3年目)</th> <th>KPI増加分 (累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>10件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>6件</td> <td>-1件</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	-	60%	10%	10%	80%	実績値(増加分)	-	91.9%	8.10%			KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	200人	50人	100人	150人	300人	実績値(増加分)	-	81人	24人			KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	4件	6件	8件	10件	24件	実績値(増加分)	-	6件	-1件		
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)																																																						
目標値(増加分)	-	60%	10%	10%	80%																																																						
実績値(増加分)	-	91.9%	8.10%																																																								
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)																																																						
目標値(増加分)	200人	50人	100人	150人	300人																																																						
実績値(増加分)	-	81人	24人																																																								
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	KPI増加分 (累計)																																																						
目標値(増加分)	4件	6件	8件	10件	24件																																																						
実績値(増加分)	-	6件	-1件																																																								
令和2年度の事業評価 (町による内部評価)	<p><b>1. 計画の進捗状況</b> 適切である</p> <p>・ 新型コロナウイルスによる影響はあるが計画通り事業を継続している。</p> <p><b>2. 事業の効果</b> 成果があった</p> <p>・ 年度ごとにきたひろ学び塾を起点とした新たな地域活動が発生している。 ・ 受講者の満足度が前年比を上回っている。</p>																																																										
今後の取組	<p>拠点を「北広島町まちづくりセンター」へ移し、各プログラムの継続と平行して、地域づくりに係る知識・技術・仲間が集まる場としてのシステムを構築していく。</p>																																																										



# 令和2年度地方創生交付金対象事業（評価シート）

事業名	スポーツをキーワードとした地方創生事業			担当課名	まちづくり推進課	令和2年度 の取組と課題																																																																								
総合戦略における 基本目標	<p>■基本目標2 キタを体感する交流・定住と次代を担うひとづくりの推進</p> <p>■方向1 ひとを呼び込む「きたひろしまの魅力」発信</p>					<p>令和2年度事業では、スポーツをキーワードとしたまちづくりに関する町民アンケート調査により町民のスポーツに関する実態の把握に努めるとともに、スポーツをキーワードとしたまちづくり研修会やスポーツアクティビティの体験型実証実験などを通じて、スポーツに関わる課題や今後の取組方針などについて町民やスポーツ関係団体と意識の共有を図り、スポーツをキーワードとしたまちづくりを推進する意識醸成に取り組んだ。</p> <p>また、本町を訪れる来訪者の増加による地域や経済の活性化を目的とした本町のPR動画の作成や、地域資源とスポーツを融合したスポーツツーリズムの開発、コロナ禍におけるオンラインを活用した新たなスポーツ合宿の検討などを行った。ハード面では、スポーツ関連施設の予約管理システムの導入や、多目的トイレの整備によるスポーツ施設のバリアフリー化、更衣室の設置などによる利用者の利便性の向上と、来訪者の町内周遊の拠点づくりに取り組んだ。</p> <p>課題としては、コロナ禍におけるインバウンド需要や国内観光客数が減少しており、地域経済にも大きな影響を及ぼしている。スポーツを通じた来訪者の増加を図るためには、コロナ禍に対応した、より安心安全な環境整備を進めるとともに、障がい者や高齢者など誰もが安心してスポーツに親しめる社会環境の整備を推進することが必要である。</p> <p>スポーツアクティビティの導入については、実証実験を通じて導入効果が高いことがわかったが、インストラクターの育成や器具の購入などに多額の費用が必要となるため、民間資本の活用など持続可能な体制整備が必要である。</p>																																																																								
事業始期	令和元年4月	事業終期	令和4年3月																																																																											
	令和元年度 決算 (1年目)	令和2年度 決算見込み (2年目)	令和3年度 当初予算 (3年目)		計																																																																									
事業費	13,970千円	27,344千円	31,131千円		72,445千円																																																																									
交付金充当額	6,985千円	13,672千円	15,565千円		36,222千円																																																																									
事業の目的	地域に根付く地域スポーツや、自然・文化・食などの地域資源を活用し、交流・関係人口の拡大による地域経済の活性化と、町民のスポーツとの触れ合いを通じて、「生きがい」や「やりがい」を感じることで地域活性化を促進する。																																																																													
事業概要	<p>■北広島町スポーツコミッション活動安定化業務 委託金額：3,993,000円（税込み） 委託先：（一財）日本スポーツコミッション 北広島町スポーツコミッションの創設に向けて、「スポーツをキーワードとしたまちづくり研修会」の3回の実施、スポーツ庁との意見交換会の開催、北広島町が創設予定のスポーツコミッションと類似の活動を実施しているスポーツコミッションへの視察とヒアリング調査、アウトドアスポーツに関連した実証実験のコーディネートとそれに伴う検討会を行った。</p> <p>■北広島町スポーツコミッション創設準備事業 委託金額：6,996,000円（税込み） 委託先：（一財）どんぐり財団 北広島町スポーツコミッション創設に向けて、「スポーツを通じたまちづくり」の可能性についてYouTubeを活用したシンポジウムの開催、「北広島町=ソフトテニスのまち」をPRするためのプロモーションビデオ制作、スポーツを目的に北広島町を訪れる来訪者の町内周遊を促進させるためのスポーツツーリズムの開発、北広島町の自然やスポーツ関連施設を有効活用したアクティビティの導入として熱気球とパラグライダーのデモンストレーション、「支えるスポーツ」に着目したスポーツボランティアの育成研修会、合宿メニューの開発や宿泊施設と連携した宿泊プランの作成を行った。</p> <p>■スポーツをキーワードとしたまちづくりに関する町民アンケート調査業務 委託金額：2,992,000円（税込み） 委託先：（株）ジャパン総研 スポーツをキーワードとしたまちづくり関連事業における成果指標の設定に活用するため、町民とスポーツについての関わりについて実態把握を行うためのアンケート調査を実施した。</p> <p>■スポーツ関連施設予約管理システム導入業務 委託金額：4,977,500円（税込み） 委託先：ソリマチ（株） 利用者の利便性向上のため、また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、遠隔地から予約状況の確認や使用申請ができるサービスを開始できるようスポーツ関連施設予約管理システムの構築及びシステムの提供。操作マニュアルの作成を行った。</p> <p>■スポーツ施設等のバリアフリー化促進事業（緑り越し事業） 豊平総合運動公園屋外トイレ改修・増築工事 ① 工事設計業務：（有）池崎設計 委託金額：1,595,000円（税込み） ② 工事発注先：（株）竹下建設 請負金額（前払い金）：6,790,000円（税込み） 豊平総合運動公園のソフトテニスコート側の屋外トイレのバリアフリー化を促進するとともに、新規に更衣室を整備することで利便性向上による利用者の拡大を図った。</p>																																																																													
重要業績評価指標 (KPI)	<p><b>1. 本町の入れ込み観光客数の増加</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和元年度 (1年目)</th> <th>令和2年度 (2年目)</th> <th>令和3年度 (3年目)</th> <th>令和4年度 (4年目)</th> <th>令和5年度 (5年目)</th> <th>KPI増加分 (累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>1,743千人</td> <td>10千人</td> <td>20千人</td> <td>30千人</td> <td>30千人</td> <td>30千人</td> <td>120千人</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>-48千人</td> <td>-658千人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2. 本町の観光消費額の増加</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和元年度 (1年目)</th> <th>令和2年度 (2年目)</th> <th>令和3年度 (3年目)</th> <th>令和4年度 (4年目)</th> <th>令和5年度 (5年目)</th> <th>KPI増加分 (累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>28億円</td> <td>0.5億円</td> <td>1億円</td> <td>1.5億円</td> <td>1.5億円</td> <td>1.5億円</td> <td>6億円</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>-2.5億円</td> <td>-8.3億円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3. 北広島町スポーツコミッションが創出する新規雇用人数</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI</th> <th>事業開始前 (計画時点)</th> <th>令和元年度 (1年目)</th> <th>令和2年度 (2年目)</th> <th>令和3年度 (3年目)</th> <th>令和4年度 (4年目)</th> <th>令和5年度 (5年目)</th> <th>KPI増加分 (累計)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値(増加分)</td> <td>0</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実績値(増加分)</td> <td>-</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	1,743千人	10千人	20千人	30千人	30千人	30千人	120千人	実績値(増加分)	-	-48千人	-658千人					KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	28億円	0.5億円	1億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	6億円	実績値(増加分)	-	-2.5億円	-8.3億円					KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)	目標値(増加分)	0	0人	1人	1人	0人	0人	2人	実績値(増加分)	-	0人	0人				
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)																																																																							
目標値(増加分)	1,743千人	10千人	20千人	30千人	30千人	30千人	120千人																																																																							
実績値(増加分)	-	-48千人	-658千人																																																																											
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)																																																																							
目標値(増加分)	28億円	0.5億円	1億円	1.5億円	1.5億円	1.5億円	6億円																																																																							
実績値(増加分)	-	-2.5億円	-8.3億円																																																																											
KPI	事業開始前 (計画時点)	令和元年度 (1年目)	令和2年度 (2年目)	令和3年度 (3年目)	令和4年度 (4年目)	令和5年度 (5年目)	KPI増加分 (累計)																																																																							
目標値(増加分)	0	0人	1人	1人	0人	0人	2人																																																																							
実績値(増加分)	-	0人	0人																																																																											
令和2年度の事業評価 (町による内部評価)	<p><b>1. 計画の進捗状況</b> 概ね適切である</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北広島町版スポーツコミッション（きたひろスポーツコミッション）の創設に向けての準備、北広島町の持つ地域資源を活かしたツーリズム及びアクティビティの検証ができ、年度内の設立となった。</li> <li>トイレのバリアフリー化による年齢や障がいに関係なく利用しやすい環境、更衣室の整備による合宿や試合などの主な来訪者である女性が快適に利用できる環境整備を行っている。</li> </ul> <p><b>2. 事業の効果</b> 成果があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の状況下ではあったがオンラインを活用したシンポジウムや研修会など、新たな手法での事業実施ができたことで、より多くの人が参加できた。</li> <li>予約システムの導入は施設利用者の利便性に大いに貢献するものとする。町内のスポーツ施設の予約状況を一覧でき、目的に沿って利用施設の選択肢の幅が増えることで、利用者の増加が期待できる。</li> </ul>																																																																													
今後の取組	<p>官民が共同して、きたひろスポーツコミッションの運営に必要な人材などを育成するとともに、安定した財源を確保するため、スポーツ合宿や大会誘致による収益増大のための事業に取組む。また、本町を拠点に活動するアンブテューサッカーチームを中心に「障がい者スポーツ」を通じた交流人口の拡大、関係人口の増大を図ることを目的にイベント等の活動を実施する。</p> <p>施設整備においては、豊平総合運動公園のソフトテニス観客席を屋根付きのものへと更新し、スポーツを「観る」、チームを「支える」ことを目的とした来訪者、応援する人の利便性・安全性を向上させる。</p>																																																																													